

# 令和2年度の 事務事業の評価シート (交通局)

# 令和2年度 事務事業評価シート

| 事業の概要                 |   |        |                   |        |              |        |           |            |         |        |        |        |
|-----------------------|---|--------|-------------------|--------|--------------|--------|-----------|------------|---------|--------|--------|--------|
| 事務事業                  | 事務事業コード   |        | 事務事業名             |        |              |        |           | 政策体系別計画の記載 |         |        |        |        |
|                       | 40704010  |        | 市バス運輸安全マネジメント推進事業 |        |              |        |           | 有          |         |        |        |        |
| 担当                    | 組織コード   |        | 所属名               |        |              |        |           |            |         |        |        |        |
|                       | 824400  |        | 交通局自動車部安全・サービス課   |        |              |        |           |            |         |        |        |        |
| 実施期間                  | 事業開始年度  | 事業終了年度 | 事務・サービスの分類        |        | 分類1(市民サービス等) |        | 分類2(内部事務) |            |         |        |        |        |
|                       | —   | —      | その他               |        | その他          |        | その他       |            |         |        |        |        |
| 実施形態                  | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |        |                   |        |              |        |           |            |         |        |        |        |
| 実施根拠                  | <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等) 道路運送法、旅客自動車運送事業運輸規則等                            |        |                   |        |              |        |           |            |         |        |        |        |
| 総合計画と連携する計画等          | 市バス事業経営戦略プログラム  |        |                   |        |              |        |           |            |         |        |        |        |
| 行財政改革第2期プログラムに関連する課題名 | 改革項目  |        |                   |        |              | 課題名    |           |            |         |        |        |        |
| 予決算<br>(単位:千円)        | 年度  | H30年度  |                   | R1年度   |              |        | R2年度      |            |         | R3年度   |        |        |
|                       |   | 予算額    | 決算額               | 計画事業費  | 予算額          | 決算額    | 計画事業費     | 予算額        | 決算額(見込) | 計画事業費  | 予算額    | 決算額    |
|                       | 事業費 A   | 23,286 | 27,085            | 80,673 | 34,334       | 28,517 | 35,291    | 36,898     | 19,742  | 19,316 | 39,973 |        |
|                       | 財源内訳  | 国庫支出金  | 0                 | —      | 0            | 0      | —         | 0          | 0       | —      | 0      | 0      |
|                       |   | 市債     | 2,000             | —      | 80,000       | 11,000 | —         | 35,000     | 18,000  | —      | 19,000 | 23,000 |
|                       |   | その他特財  | 21,286            | —      | 673          | 23,334 | —         | 291        | 18,898  | —      | 316    | 16,973 |
|                       |   | 一般財源   | 0                 | —      | 0            | 0      | —         | 0          | 0       | —      | 0      | 0      |
| 人件費※ B                | 26,511  | 26,511 | 27,442            | 27,442 | 27,442       | 32,555 | 32,555    | 32,555     | 0       | 0      |        |        |
| 総コスト(A+B)             | 49,797  | 53,596 | 108,115           | 61,776 | 55,959       | 67,846 | 69,453    | 52,297     | 19,316  | 39,973 |        |        |
| 人工(単位:人)              | 3.13  |        | 3.23              |        |              | 3.83   |           |            |         |        |        |        |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 計画 (Plan)                                 |  |                          |
|---|--|--------------------------|
| 政策体系                                      | 政策   | 総合的な交通体系を構築する            |
|   | 施策   | 市バスの輸送サービスの充実            |
|   | 直接目標   | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する |
| 事業の対象<br>(事業の対象となる人、物)                    | 市バス利用者、市内小学校など   |                          |
| 事業の目的<br>(対象をどのような状態にしたいか)                | 輸送の安全性の向上に向けた取組を実施し、安全な市バス輸送サービスを提供します。  |                          |
| 事業の内容<br>(どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | 輸送の安全を確保するため、国の指針に基づき、交通事業管理者や安全統括管理者など経営トップの主体的な取組の下で、職員の安全意識の向上、PDCAサイクルの構築による安全管理体制の継続的改善、発生要因を踏まえた効果的な事故防止対策の実施などの取組を進めます。 |                          |
| 当該年度の取組内容<br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ①輸送安全委員会開催(年4回)<br>②事故の発生状況に基づく重点的対策の検討・実施<br>③交通安全教室の実施(年14回)<br>④運行管理体制の充実・強化<br>⑤運行ミス防止対策の実施<br>⑥ドライブレコーダーの更新整備             |                          |
| 当初計画からの変更箇所<br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  |  |                          |

| 実施結果 (Do)   |                              |   |   |               |       |      |      |      |      |   |
|---|------------------------------|---|---|---------------|-------|------|------|------|------|---|
| 上記「当該年度の取組内容」に対する達成度  |                              | 4   | 1. 目標を大きく上回って達成   | 4. 目標を下回った    |       |      |      |      |      |   |
|   |                              |   | 2. 目標を上回って達成  | 5. 目標を大きく下回った |       |      |      |      |      |   |
|   |                              |   | 3. ほぼ目標どおり  |               |       |      |      |      |      |   |
| 取組内容の実績等<br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) |                              | 目標を下回りました。<br>①輸送安全委員会については、4回開催しました。<br>②事故の発生状況に基づく重点的対策については、静止物接触事故、車内人身事故、自転車事故について、形態別目標を設定し、実車を用いた体験型研修等の実施により、重点的に事故防止に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う走行環境の変化などの影響により、事故が大幅に増加し、目標を達成できませんでした。次年度以降については、これまでの取組を継続しながら、走行環境の変化に対応するため、運転技術を向上させるための研修を拡大実施することや、新たな事故防止の取組を採り入れることで、目標達成に向けた改善を図ります。<br>③交通安全教室については、共同で実施している小学校及び高齢者福祉施設と協議の結果、三密を避けるなど新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から開催中止としました。次年度以降については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえつつ、必要な感染防止対策を行った上で、交通安全教室を実施します。<br>④運行管理体制の充実・強化については、厳正な点呼の実施徹底に向け、交通安全運動期間、事故防止運動期間等に、局管理職等による早期点呼立会いを実施(24回)しました。初任運行管理者研修(1回)及び一般運行管理者研修(1回)を開催し、適切な運行管理の実施を図りました。<br>⑤運行ミス防止対策については、基本動作の徹底や指定停留所での一時停止及び指定交差点での行き先アナウンスの実施について指導しました。運行ミス惹起者に対して、本局での特別指導教育を実施し、発生場所では緊急街頭指導を実施しました。<br>⑥ドライブレコーダーについては、更新が必要なものについて一般競争入札を実施し、適切な整備を実施しました。(11両)その他、バス車両の安全性を高めるため、車両の更新に合わせてEDSS(ドライバー異常対応システム)搭載車を導入しました。(11両) |   |               |       |      |      |      |      |   |
| 指標分類  | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) |   |   | 目標・実績         | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位   |   |
| 1   | 活動指標                         | マネジメントレビュー(輸送安全委員会)の開催回数  |   |               | 目標    | 4    | 4    | 4    | 4    | 回 |
|   |                              | 説明  | 輸送安全マネジメントに基づく取組の進捗管理や安全管理体制の評価を行うマネジメントレビューの開催回数                                       |               | 実績    | 4    | 4    | 4    | —    |   |
| 2   | 成果指標                         | 走行距離10万kmあたりの有責事故発生件数   |   |               | 目標    | 0.28 | 0.28 | 0.28 | 0.28 | 件 |
|   |                              | 説明  | 走行距離10万kmあたりの責任割合1%以上の事故の件数(当該件数を把握することにより、市バス事業の使命である安全運行について、効果的な事故防止対策等の一定の成果を測ります。) |               | 実績    | 0.28 | 0.28 | 0.4  | —    |   |

|   |          |             |  |  |    |    |    |    |    |   |
|---|----------|-------------|--|--|----|----|----|----|----|---|
| 3 | 活動<br>指標 | 交通安全教室の開催回数 |  |  | 目標 | -  | 14 | 14 | 14 | 回 |
|   |          | 説明          | 幼稚園、小学校、高等学校、警察署、区役所等と連携し、市バス車両等を使用した交通安全教室の開催回数 |  | 実績 | 12 | 13 | 0  | -  |   |

## 評価 (Check)

**事業を取り巻く社会環境の変化**  
(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)  
道路交通法の改正に伴う自転車の車道走行の徹底等による道路走行環境の変化や、高齢化の進展に伴い高齢者利用の増加が見込まれることなどから、安全性の確保に向けた取組が重要となっています。

|   |   |
|---|---|
| <b>事業の見直し・改善内容</b>                            | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 1 年度 <input type="checkbox"/> 未実施   |
| <p>具体的な見直し・改善内容<br/>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</p> | <p>R1年度: バス後輪部の夜間の視認性を高めるLED路肩灯を全車に導入<br/>車両更新時におけるEDSS(ドライバー異常時対応システム)の導入を開始<br/>H30年度: 事故を未然に防ぐ対策の一つとしてウインカーチャイムを全車に導入<br/>交通安全教室を全7区で開催した他、新たに幼稚園、高齢者向け教室や、講話型教室を開催<br/>交通安全教室のパンフレット・DVD作成<br/>デジタルサイネージ(大型モニター)にてバスのドライブレコーダーのヒヤリハットや事故映像を流し注意喚起<br/>H29年度: 職長運転手の事故防止関係会議参加による運転手間の情報共有<br/>直営3営業所で形態別重大事故通報訓練の実施<br/>H28年度: 輸送安全性の確保等への更なる活用のため、塩浜・井田・鷲ヶ峰・上平間営業所の車両のドライブレコーダー更新及び管生営業所を含む全営業所の車両の車内カメラを1基増設(5カメラ化)<br/>H27年度: 自転車接触事故の防止対策として、車両後面への注意表示ステッカーの整備などお客様への啓発を実施<br/>重大事故発生時対応マニュアルについて、夜間・土休日における初動体制及び本局職員営業所応援体制を整備<br/>H26年度: 車内人身事故の防止対策として、優先席付近床面への注意表示の整備などお客様への啓発を実施<br/>輸送安全に関する情報伝達の強化として、全営業所へデジタルサイネージを整備<br/>H24年度: 災害時においても安定した通信環境の確保が可能なデジタル方式の無線機を全車に導入し非常時連絡体制を整備<br/>H23年度: 川崎市交通局安全方針について、運輸安全マネジメントガイドラインを踏まえつつ、職員が理解しやすい内容に改正<br/>管生営業所新設に伴い、ドライブレコーダーを一部更新<br/>市バス営業所改革アドバイザーによる今後の運行管理の方向性の提言<br/>川崎市交通局バス運行管理に係る改善委員会の設置及び答申<br/>H22年度: 市バス運転手としての使命感やプロ意識の醸成を目的として、運転技能コンクールを開始<br/>運行管理業務の改善と運行管理者の指導を推進するため、市バス営業所改革アドバイザーを設置(任期1年)<br/>H21年度: 事故要因分析の充実による効果的な再発防止対策の実施等のためドライブレコーダーを全車に導入</p> |

| 評価項目  |  | 評価   |   |
|-------|--|--|---|
| 必要性   | 【市民のニーズ】<br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか?  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている                          | a |
|       | 【市が実施する必要性】<br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?  | a. 事例はない<br>b. 事例がある                           | a |
| 有効性   | 【成果】<br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない        | c |
|       | 評価の理由  | 走行距離10万km当たりの有責事故発生件数は0.353件となり、目標値を達成できていません。 |   |
| 効率性   | 【民間の活用】<br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?  | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み              | b |
|       | 【事業手法等の見直し】<br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか?   | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある                         | b |
|       | 【質の向上】<br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか?   | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み              | b |
| 評価の理由 | ・一部研修については民間委託を実施していますが、さらなる民間委託によるコスト削減の余地があります。<br>・研修の実施方法については、契約方法、仕様の見直しなどによる事務改善の可能性あります。<br>・運輸安全マネジメントに基づき、毎年度、取組の進捗管理、チェック、改善を継続的に実施することで、さらなる輸送の安全をお客様に提供する余地があります。 |  |   |

|             |  |  |
|-------------|--|--|
| 施策への<br>貢献度 | 貢献度区分                                    | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由  |
|             | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い | B<br>走行距離10万km当たりの有責事故発生件数について、結果として目標値を達成することはできませんでしたが、輸送安全委員会の開催をはじめ、事故の発生状況に基づく重点的対策の検討・実施、運行管理体制の充実・強化等、運輸安全マネジメントの推進に取り組んでいることから、施策への貢献はありました。 |

## 改善 (Action)

|               |  |   |
|---------------|--|---|
| 今後の事業の<br>方向性 | 方向性区分  | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性   |
|               | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | II<br>自転車接触事故、静止物接触事故、車内人身事故について、重点的に事故防止に取り組むなど、これまでの取組を継続しながら、走行環境の変化に対応するための研修の拡大や、新たな事故防止の取組を実施します。また、関係機関と連携しながら、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行った上で、交通安全教室の実施と、啓発活動も併せて行うことで引き続き事故防止に取り組んでいきます。 |

|                                    |                          |  |
|------------------------------------|--------------------------|--|
| 今後の事業の方向性を<br>踏まえた次年度の計画上の<br>変更箇所 | 変更前<br>(次年度計画上の記載)       |  |
|                                    | 変更後<br>(上記計画上の記載に対する変更点) |  |
|                                    | 変更の理由                    |  |

# 令和2年度 事務事業評価シート

| 事業の概要                 |   |                 |             |        |              |       |       |           |            |       |       |     |
|-----------------------|---|-----------------|-------------|--------|--------------|-------|-------|-----------|------------|-------|-------|-----|
| 事務事業                  | 事務事業コード   | 事務事業名           |             |        |              |       |       |           | 政策体系別計画の記載 |       |       |     |
|                       | 40704020  | 市バス安全教育推進事業     |             |        |              |       |       |           | 有          |       |       |     |
| 担当                    | 組織コード   | 所属名             |             |        |              |       |       |           |            |       |       |     |
|                       | 824400  | 交通局自動車部安全・サービス課 |             |        |              |       |       |           |            |       |       |     |
| 実施期間                  | 事業開始年度  | 事業終了年度          | 事務・サービス等の分類 |        | 分類1(市民サービス等) |       |       | 分類2(内部事務) |            |       |       |     |
|                       | —   | —               |             |        | その他          |       |       | その他       |            |       |       |     |
| 実施形態                  | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他   |                 |             |        |              |       |       |           |            |       |       |     |
| 実施根拠                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等) 旅客自動車運送事業運輸規則第38条第1項及び第2項、川崎市安全運転指導教育・特別指導教育実施要綱等 |                 |             |        |              |       |       |           |            |       |       |     |
| 総合計画と連携する計画等          | 市バス事業経営戦略プログラム  |                 |             |        |              |       |       |           |            |       |       |     |
| 行財政改革第2期プログラムに関連する課題名 | 改革項目  |                 |             |        |              | 課題名   |       |           |            |       |       |     |
| 予決算<br>(単位:千円)        | 年度  | H30年度           |             | R1年度   |              |       | R2年度  |           |            | R3年度  |       |     |
|                       |   | 予算額             | 決算額         | 計画事業費  | 予算額          | 決算額   | 計画事業費 | 予算額       | 決算額(見込)    | 計画事業費 | 予算額   | 決算額 |
|                       | 事業費 A   | 1,631           | 1,542       | 1,631  | 1,661        | 515   | 1,631 | 318       | 0          | 1,631 | 87    |     |
|                       | 財源内訳  | 国庫支出金           | 0           | —      | 0            | 0     | —     | 0         | 0          | —     | 0     | 0   |
|                       |   | 市債              | 0           | —      | 0            | 0     | —     | 0         | 0          | —     | 0     | 0   |
|                       |   | その他特財           | 1,631       | —      | 1,631        | 1,661 | —     | 1,631     | 318        | —     | 1,631 | 87  |
|                       |   | 一般財源            | 0           | —      | 0            | 0     | —     | 0         | 0          | —     | 0     | 0   |
|                       | 人件費 <sup>※</sup> B  | 8,894           | 8,894       | 8,496  | 8,496        | 8,496 | 7,225 | 7,225     | 7,225      | 0     | 0     | 0   |
|                       | 総コスト(A+B)   | 10,525          | 10,436      | 10,127 | 10,157       | 9,011 | 8,856 | 7,543     | 7,225      | 1,631 | 87    | 0   |
|                       | 人工(単位:人)  | 1.05            |             | 1      |              |       | 0.85  |           |            |       |       |     |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 計画 (Plan)                                 |   |                          |
|---|---|--------------------------|
| 政策体系                                      | 政策  | 総合的な交通体系を構築する            |
|   | 施策  | 市バスの輸送サービスの充実            |
|   | 直接目標  | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する |
| 事業の対象<br>(事業の対象となる人、物)                    | 運転手   |                          |
| 事業の目的<br>(対象をどのような状態にしたいか)                | 輸送の安全に係る意識や技能・技術の向上に向けた取組を実施し、安全な市バス輸送サービスを提供します。                                       |                          |
| 事業の内容<br>(どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | 運転手等の職員を対象とした教育及び研修による人材育成の推進など、運輸安全マネジメントに基づく取組を着実に推進し、安全な輸送サービスの確保と安全水準の更なる向上に取り組めます。 |                          |
| 当該年度の取組内容<br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ①営業所研修の実施(8回)<br>②階層別研修・派遣研修の実施(25回)  |                          |
| 当初計画からの変更箇所<br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  |   |                          |

| 実施結果 (Do)   |                              |  |   |                             |       |      |      |      |    |
|---|------------------------------|--|---|-----------------------------|-------|------|------|------|----|
| 上記「当該年度の取組内容」に対する達成度  |                              | 3  | 1. 目標を大きく上回って達成<br>2. 目標を上回って達成<br>3. ほぼ目標どおり | 4. 目標を下回った<br>5. 目標を大きく下回った |       |      |      |      |    |
| 取組内容の実績等<br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等により具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) |                              | ほぼ目標どおり達成できました。<br>①営業所研修については、新型コロナウイルス感染症防止の観点から警察署と協議した結果、法令講習会を中止とし、それを除く6回の実施となりました。次年度以降は、法令講習会が実施できない場合は代替の研修を実施します。集合研修については、実施回数を増やし、1回あたりの参加人数を減らすことで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い、実施しました。<br>②階層別研修・派遣研修については、新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた上で集合研修の実施の可否について検討し、感染対策をとった上で、必要最低限の実施(13回)としました。代替措置として安全・サービス課職員による添乗観察結果を踏まえた指導を実施し、また、定期受講の研修については、次年度以降に繰り越して受講させる等、最大限のフォローアップを行いました。次年度以降については、新型コロナウイルス感染対策をとった上で研修を実施します。 |   |                             |       |      |      |      |    |
| 指標分類  | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) |  |   | 目標・実績                       | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
| 1   | 活動指標                         | 営業所研修の実施回数   |   | 目標                          | 8     | 8    | 8    | 8    | 回  |
|   |                              | 説明   | 運転手を対象とした安全教育に係る各種研修の実施回数                     |                             | 実績    | 8    | 8    | 6    |    |
| 2   | 活動指標                         | 階層別研修・派遣研修の実施回数  |   | 目標                          | 25    | 25   | 25   | 25   | 回  |
|   |                              | 説明   | 運転手を対象とした安全教育に係る各種研修の実施回数                     |                             | 実績    | 25   | 25   | 12   |    |
| 3   |                              |  |   | 目標                          |       |      |      |      |    |
|   |                              | 説明   |   |                             | 実績    |      |      |      |    |
| 4   |                              |  |   | 目標                          |       |      |      |      |    |
|   |                              | 説明   |   |                             | 実績    |      |      |      |    |

## 評価 (Check)

|   |   |
|---|---|
| 事業を取り巻く社会環境の変化<br>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 「旅客自動車運送事業者が事業用自動車の運転手に対して行う指導及び監督の指針」が平成30年6月1日付けで改正され、健康管理の重要性や運転者の運転適性に応じた安全運転など安全意識の醸成が求められています。  |
| 事業の見直し・改善内容                               | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 1 年度 <input type="checkbox"/> 未実施   |
| 具体的な見直し・改善内容<br>※過去に見直した履歴も記載<br>できる場合は記載 | R1年度:運転手(養成枠)用の運転訓練車を導入するとともに、既存の運転手にも活用<br>H30年度:全運転手を対象に実車を使用した体験型の研修を実施<br>民間の大型車教習コースを利用した運転手実技研修を実施<br>H29年度:事故防止研修の内容を見直すとともに、ヒヤリ・ハット動画を営業所のデジタルサイネージで配信<br>H27年度:重複内容の整理及び効率化を図るため、運転手グループワーク研修と第2回事故防止研修を合同開催 |

| 評価項目        |  | 評価   |   |
|-------------|--|--|---|
| 必要性         | 【市民のニーズ】<br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか?  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている  | a   |
|             | 【市が実施する必要性】<br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?  | a. 事例はない<br>b. 事例がある   | a   |
|             | 評価の理由  | ・輸送の安全を取り巻く状況に応じて教育及び研修が求められており、今後も教育及び研修を充実していく必要があります。<br>・市バスの運輸マネジメント推進に向け、川崎市交通局自身で取り組んでいく必要性があります。   |   |
| 有効性         | 【成果】<br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない  | b   |
|             | 評価の理由  | 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施中止となった研修はあるものの、1回あたりの参加人数を減らすことや、他の研修により補完を行うことで、安全な輸送サービスの確保と安全水準のさらなる向上に向けて取り組むことができ、実施回数については目標を下回ったものの、成果は徐々に上がっています。   |   |
| 効率性         | 【民間の活用】<br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b   |
|             | 【事業手法等の見直し】<br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか?           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある   | b   |
|             | 【質の向上】<br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b   |
|             | 評価の理由  | ・運転手実技研修の一部業務については民間委託していますが、その他の業務については民間活用によるコスト削減の余地があります。<br>・各種研修業務について、契約方法や仕様の見直し及び事務手続きの見直しにより、事務改善の可能性がります。<br>・運輸安全マネジメントに基づき、毎年度、取組の進捗管理、チェック、改善を継続的に実施することで、さらなる輸送サービスの確保と安全水準の向上を図ることができる余地があります。 |   |
| 施策への<br>貢献度 | 貢献度区分  | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由  |   |
|             | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い   | B  | 運輸マネジメントに基づく取組を着実に推進することで、輸送の安全に係る意識や技能・技術の向上につながったことから、施策にやや貢献しています。 |

## 改善 (Action)

| 今後の事業の方向性                          | 方向性区分  | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性   |
|------------------------------------|--|---|
|                                    | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | II<br>新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、感染対策を施した開催方法を検討するとともに、研修を実施しない場合には、他の研修の拡大実施などにより研修内容を補完することで、引き続き運転手に対する安全教育の推進に取り組んでいきます。 |
| 今後の事業の方向性を<br>踏まえた次年度の計画上の<br>変更箇所 | 変更前<br>(次年度計画上の記載)   |   |
|                                    | 変更後<br>(上記計画上の記載に対する変更点)   |   |
|                                    | 変更の理由  |   |

# 令和2年度 事務事業評価シート

## 事業の概要

|                       |   |               |            |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
|-----------------------|---|---------------|------------|--------------|-----------|------------|--------|--------|---------|-------|-------|-------|--|
| 事務事業                  | 事務事業コード   | 事務事業名         |            |              |           | 政策体系別計画の記載 |        |        |         |       |       |       |  |
|                       | 40704030  | 市バスネットワーク推進事業 |            |              |           | 有          |        |        |         |       |       |       |  |
| 担当                    | 組織コード   | 所属名           |            |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
|                       | 824300  | 交通局自動車部運輸課    |            |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 実施期間                  | 事業開始年度  | 事業終了年度        | 事務・サービスの分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) |            |        |        |         |       |       |       |  |
|                       | —   | —             |            | その他          | —         |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 実施形態                  | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |               |            |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 実施根拠                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等)   |               |            |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 総合計画と連携する計画等          | まち・ひと・しごと創生総合戦略, 都市計画マスタープラン, 総合都市交通計画, 市バス事業経営戦略プログラム  |               |            |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 行財政改革第2期プログラムに関連する課題名 | 改革項目  |               | 課題名        |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 予決算<br>(単位: 千円)       | 年度  | H30年度         |            | R1年度         |           | R2年度       |        | R3年度   |         |       |       |       |  |
|                       |   | 予算額           | 決算額        | 計画事業費        | 予算額       | 決算額        | 計画事業費  | 予算額    | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額   | 決算額   |  |
|                       | 事業費 A   | 8,677         | 24,042     | 8,677        | 8,878     | 6,803      | 8,677  | 8,958  | 7,076   | 8,677 | 8,879 |       |  |
|                       | 財源内訳  | 国庫支出金         | 0          | —            | 0         | 0          | —      | 0      | 0       | —     | 0     | 0     |  |
|                       |   | 市債            | 0          | —            | 0         | 0          | —      | 0      | 0       | —     | 0     | 0     |  |
|                       |   | その他特財         | 8,677      | —            | 8,677     | 8,878      | —      | 8,677  | 8,958   | —     | 8,677 | 8,879 |  |
|                       |   | 一般財源          | 0          | —            | 0         | 0          | —      | 0      | 0       | —     | 0     | 0     |  |
|                       | 人件費 <sup>*</sup> B  | 55,902        | 55,902     | 53,525       | 53,525    | 53,525     | 53,550 | 53,550 | 53,550  | 0     | 0     | 0     |  |
|                       | 総コスト(A+B)   | 64,579        | 79,944     | 62,202       | 62,403    | 60,328     | 62,227 | 62,508 | 60,626  | 8,677 | 8,879 | 0     |  |
|                       | 人工(単位: 人)   | 6.6           |            | 6.3          |           | 6.3        |        |        |         |       |       |       |  |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

## 計画 (Plan)

|   |  |                          |
|---|--|--------------------------|
| 政策体系                                      | 政策   | 総合的な交通体系を構築する            |
|   | 施策   | 市バスの輸送サービスの充実            |
|   | 直接目標   | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する |
| 事業の対象<br>(事業の対象となる人、物)                    | バスを利用する市民等   |                          |
| 事業の目的<br>(対象をどのような状態にしたいか)                | 輸送需要やまちづくりと連携した運行を行うことで、市バス輸送サービスの利便性の向上を図ります。   |                          |
| 事業の内容<br>(どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | 利用実態や走行環境の変化、市のまちづくりに対応した運行を行い、市バスネットワークの維持・充実に努めます。   |                          |
| 当該年度の取組内容<br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ①輸送需要に対応した路線の見直しやダイヤ改正<br>②都市計画道路の整備に対応した運行経路や停留所位置の変更等<br>③鷺沼駅周辺地区の交通広場の整備再編に合わせた路線の検討<br>④聖マリアンナ医科大学へのアクセス向上の検討<br>⑤産業道路(大師橋)駅前交通広場整備に合わせた路線見直しの検討及び運行ダイヤの検討<br>⑥臨港道路東扇島水江町線整備に合わせた路線の検討 |                          |
| 当初計画からの変更箇所<br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  |  |                          |

## 実施結果 (Do)

|   |   |  |
|---|---|--|
| 上記「当該年度の取組内容」に対する達成度  | 3   | 1. 目標を大きく上回って達成<br>2. 目標を上回って達成<br>3. ほぼ目標どおり<br>4. 目標を下回った<br>5. 目標を大きく下回った |
| 取組内容の実績等<br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | ほぼ目標どおり達成できました。<br>①新型コロナウイルス感染症の影響等による輸送需要の変化を踏まえ、路線の見直しやダイヤ改正を実施しました。<br>・新城線は、武蔵小杉駅への需要を踏まえて杉04系統(新城駅前～小杉駅東口～横須賀線小杉駅)を新設しました。<br>・新ゆり線は、小田急バスと共同運行している新10系統(新ゆりグリーンタウン～新百合丘駅前)を同社の単独運行に変更するとともに、王禅寺口周辺の利便性向上に向けて新13系統(新百合丘駅前～王禅寺口～新百合丘駅前)を新設するなど、路線の見直し等を行いました。<br>・埠頭線、柿生線、大蔵線、五所塚線、藤子・F・不二雄ミュージアム線、小向線、御幸線、宮内線、渡田線は、利用動向を踏まえて運行本数の見直しを行いました。<br>・埠頭線、小向線、御幸線、有馬線は、利用動向を踏まえて深夜バス運行系統における運行本数の見直しを行いました。<br>・その他の路線についても、輸送需要や走行環境に見合ったダイヤ改正を行いました。<br>②都市計画道路丸子中山茅ヶ崎線(鎌山坂工区)の整備工事の進捗に合わせ、沿線の停留所位置の変更を行いました。<br>③鷺沼駅周辺再編整備における交通広場の整備進捗等に係る協議調整を行いました。<br>④新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた今後示される経営方針に沿って検討することとし、聖マリアンナ医科大学へのアクセス向上の検討は見送りました。<br>⑤大師橋駅前交通広場整備の遅れに伴い、路線見直しの検討及び運行ダイヤの検討は実施を見送りました。<br>⑥臨港道路東扇島水江町線整備事業(交差点改良等)の進捗に伴い、「池上町」停留所(水江町方向・川崎駅方向)の位置の変更を行いました。 |  |

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|------|------------------------------|-------|-------|------|------|------|----|
| 1    | 説明                           | 目標    |       |      |      |      |    |
|      |                              | 実績    |       |      |      | —    |    |
| 2    | 説明                           | 目標    |       |      |      |      |    |
|      |                              | 実績    |       |      |      | —    |    |

## 評価 (Check)

|  |   |
|--|---|
| <b>事業を取り巻く社会環境の変化</b><br>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 産業道路(大師橋)駅駅前交通広場整備、臨港道路東扇島水江町線などの都市基盤整備などが予定されています。また、市民ニーズとしては、拠点駅へのアクセス需要が高まっているとともに、病院アクセスの向上など高齢社会への対応が求められています。  |
| <b>事業の見直し・改善内容</b>                               | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R <b>2</b> 年度 <input type="checkbox"/> 未実施  |
| 具体的な見直し・改善内容<br>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載            | R2年度 : 新城駅前から小杉駅東口・横須賀線小杉駅接続系統の新設<br>新百合丘駅前から王禅寺口周辺への循環系統の新設<br>新型コロナウイルス感染症による事業環境の変化等を踏まえたダイヤ改正等の実施<br>R1年度 : 溝口駅南口から南平・犬蔵地区への土曜・休日深夜バスの運行<br>溝口駅南口から鷺ヶ峰営業所への土曜深夜バスの増回<br>川崎駅から川崎病院接続系統の終車延長<br>H30年度 : 東扇島循環特急系統の停車停留所を変更<br>溝口駅南口から新百合丘駅接続系統の増回<br>南平・犬蔵地区の深夜バス系統を新設<br>鷺沼駅と聖マリアンナ医科大学前間の路線新設 |

| 評価項目    |   | 評価  |   |
|---------|---|---|---|
| 必要性     | <b>【市民のニーズ】</b><br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている   | a   |
|         | <b>【市が実施する必要性】</b><br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？  | a. 事例はない<br>b. 事例がある  | a   |
|         | 評価の理由   | 本市のまちづくり計画、駅前開発などの施策との連携や、地域の特性を踏まえた公共交通としての市バスネットワークの維持が必要です。  |   |
| 有効性     | <b>【成果】</b><br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない   | b   |
|         | 評価の理由   | 新型コロナウイルス感染症により事業環境が変化中、利用動向を踏まえたダイヤ改正等の取組により、市民の利便性を確保しています。   |   |
| 効率性     | <b>【民間の活用】</b><br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み   | b   |
|         | <b>【事業手法等の見直し】</b><br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある  | b   |
|         | <b>【質の向上】</b><br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み   | b   |
|         | 評価の理由   | 今後も、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた減便を進めていく必要がありますが、その中においても、利用動向の変化の分析とともに路線の見直しを合わせて行っていくことにより、利便性の確保など質の向上を図ることができます。 |   |
| 施策への貢献度 | <b>貢献度区分</b><br>A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い                                      | <b>上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由</b><br>A   | 新城駅前から小杉駅東口・横須賀線小杉駅接続系統の新設や新百合丘駅前から王禅寺口周辺への循環系統の新設など、主要鉄道駅等へのアクセス向上に取り組むなど、施策への貢献はありました。また、新型コロナウイルス感染症により事業環境が変化中、利用動向を踏まえたダイヤ改正等を行い、運行を維持するなど、施策への貢献はありました。 |
|         |   |   |   |



## 改善 (Action)

| 今後の事業の方向性  | 方向性区分                           | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性  |
|--|---------------------------------|--|
| I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | II                              | 今後も、新型コロナウイルス感染症による事業環境の変化を踏まえながら、地域の特性や輸送需要に応じた路線の見直しやダイヤ改正を行うとともに、本市のまちづくり施策や駅前開発などと連携した市バスネットワークの整備を行います。 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上的変更箇所   | <b>変更前</b><br>(次年度計画上の記載)       |  |
|  | <b>変更後</b><br>(上記計画上の記載に対する変更点) |  |
|  | <b>変更の理由</b>                    |  |

# 令和2年度 事務事業評価シート

| 事業の概要                 |  |                 |             |        |        |              |        |           |            |        |       |        |
|-----------------------|--|-----------------|-------------|--------|--------|--------------|--------|-----------|------------|--------|-------|--------|
| 事務事業                  | 事務事業コード  | 事務事業名           |             |        |        |              |        |           | 政策体系別計画の記載 |        |       |        |
|                       | 40704040   | 市バスお客様サービス推進事業  |             |        |        |              |        |           | 有          |        |       |        |
| 担当                    | 組織コード  | 所属名             |             |        |        |              |        |           |            |        |       |        |
|                       | 824400   | 交通局自動車部安全・サービス課 |             |        |        |              |        |           |            |        |       |        |
| 実施期間                  | 事業開始年度   | 事業終了年度          | 事務・サービス等の分類 |        |        | 分類1(市民サービス等) |        | 分類2(内部事務) |            |        |       |        |
|                       | —  | —               |             |        |        | その他          |        | —         |            |        |       |        |
| 実施形態                  | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |                 |             |        |        |              |        |           |            |        |       |        |
| 実施根拠                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等) 川崎市バスサービス向上推進本部設置要綱  |                 |             |        |        |              |        |           |            |        |       |        |
| 総合計画と連携する計画等          | 市バス事業経営戦略プログラム   |                 |             |        |        |              |        |           |            |        |       |        |
| 行財政改革第2期プログラムに関連する課題名 | 改革項目   |                 |             |        |        | 課題名          |        |           |            |        |       |        |
| 予決算<br>(単位:千円)        | 年度   | H30年度           |             | R1年度   |        |              | R2年度   |           |            | R3年度   |       |        |
|                       |  | 予算額             | 決算額         | 計画事業費  | 予算額    | 決算額          | 計画事業費  | 予算額       | 決算額(見込)    | 計画事業費  | 予算額   | 決算額    |
|                       | 財源内訳   | 事業費 A           | 11,376      | 9,723  | 9,463  | 14,631       | 11,935 | 9,463     | 11,472     | 7,046  | 9,463 | 10,465 |
|                       |  | 国庫支出金           | 0           | —      | 0      | 0            | —      | 0         | 0          | —      | 0     | 0      |
|                       |  | 市債              | 0           | —      | 0      | 0            | —      | 0         | 0          | —      | 0     | 0      |
|                       |  | その他特財           | 11,376      | —      | 9,463  | 14,631       | —      | 9,463     | 11,472     | —      | 9,463 | 10,465 |
|                       |  | 一般財源            | 0           | —      | 0      | 0            | —      | 0         | 0          | —      | 0     | 0      |
|                       | 人件費※ B   | 27,528          | 27,528      | 27,612 | 27,612 | 27,612       | 28,475 | 28,475    | 28,475     | 0      | 0     |        |
| 総コスト(A+B)             | 38,904   | 37,251          | 37,075      | 42,243 | 39,547 | 37,938       | 39,947 | 35,521    | 9,463      | 10,465 |       |        |
| 人工(単位:人)              | 3.25   |                 | 3.25        |        |        | 3.35         |        |           |            |        |       |        |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 計画 (Plan)                                 |  |
|---|--|
| 政策体系                                      | 政策 総合的な交通体系を構築する<br>施策 市バスの輸送サービスの充実<br>直接目標 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する                              |
| 事業の対象<br>(事業の対象となる人、物)                    | バスを利用する市民等   |
| 事業の目的<br>(対象をどのような状態にしたいか)                | 市バスサービスポリシーの実践を通してお客様に満足いただけるサービスを提供します。   |
| 事業の内容<br>(どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | 市バスサービスポリシーの実践により、日々のお客様からの意見・要望である「お客様の声」やお客様満足度などの変化を踏まえたサービスを提供することにより、お客様に満足いただけるサービスの提供を行います。 |
| 当該年度の取組内容<br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ① サービス向上研修(年2回)<br>② 添乗観察(年2回)<br>③ 新たな「市バスお客様アンケート調査」の実施、調査結果の分析・検証                               |
| 当初計画からの変更箇所<br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  |  |

| 実施結果 (Do)  |  |
|--|--|
| 上記「当該年度の取組内容」に対する達成度   | 3                        1. 目標を大きく上回って達成                        4. 目標を下回った<br>2. 目標を上回って達成                        5. 目標を大きく下回った<br>3. ほぼ目標どおり  |
| 取組内容の実績等<br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | ほぼ目標どおり達成できました。<br>① サービス向上研修については、昨年度苦情が多く寄せられた内容や、多種多様な車椅子の種類、今年度の「市バスお客様アンケート調査」の結果について、説明・指導を実施しました(3回)。<br>② 添乗観察については、昨年度に引き続き、良好な成績を収めた運転手に対しては1度の添乗観察にとどめ、成績が不良の運転手に対しては複数回の添乗を外部委託業者により実施しました。添乗観察の結果を用いて、その都度職員による運転手指導を実施しました。また、昨年度の成績不良者に対し、職員による添乗観察を実施し、サービスの底上げを図りました。<br>③ 新たな「市バスお客様アンケート調査」の実施については、WEB、車内吊り及び窓口設置により実施しました。また、設問を見直し、市バスの満足度の他に、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、お客様の意見・要望の収集を行いました。調査結果の分析・検証については、営業所ごと傾向を整理し、研修に活用しました。 |
| 指標分類   | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)                        目標・実績                        H30年度                        R1年度                        R2年度                        R3年度                        単位   |
| 1 活動指標   | サービス向上研修の実施回数                        目標 2                        2                        2                        2                        回<br>説明 運転手を対象にしたサービス重点項目や「お客様の声」を反映した接客についての研修の実施回数                        実績 5                        5                        3                        —  |
|  | 添乗観察の実施回数                        目標 2                        2                        2                        2                        回<br>説明 運転手を対象に覆面調査員の添乗により安全・サービス項目の実施をチェックする添乗観察の実施回数                        実績 2                        2                        2                        —  |
| 3 成果指標   | お客様総合満足度                        目標 65                        68                        68                        68                        %<br>説明 市バスお客様アンケート調査(R1回答数 2,585)において市バスのサービス全般を「満足、やや満足、普通、やや不満、不満」の5段階で評価し、「満足」と「やや満足」の合計をお客様満足度として算出                        実績 69.6                        62                        50.4                        —  |
|  | 説明                        目標                        実績                        —  |

## 評価 (Check)

|  |   |
|--|---|
| <b>事業を取り巻く社会環境の変化</b><br>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 高齢者利用の増加や障害者差別解消法の施行など、市バスを取り巻く状況の変化に適切に対応するため、運転手等へのサービス教育の充実など、お客様サービスの更なる向上が求められています。  |
| <b>事業の見直し・改善内容</b>                               | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R <b>2</b> 年度 <input type="checkbox"/> 未実施  |
| 具体的な見直し・改善内容<br>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載            | R2年度:市バスお客様アンケート調査の設問の見直し・追加、職員による添乗観察の実施<br>R1年度:市バスお客様アンケート調査の設問の見直し<br>H30年度:「ひと声運動」を8月から毎月実施<br>外部講師による運転手接遇向上研修の実施<br>添乗観察結果において成績不良だった運転手に対する局管理職からの指導面談の実施<br>H29年度:年2回実施していたサービス向上研修を年3回に拡充<br>H25年度:市バスサービスポリシーの事務職員等の行動基準の策定<br>H24年度:市バスサービスポリシーの策定、「市バスお客様アンケート調査」を現行調査に改め、実施 |

| 評価項目 |   | 評価   |   |
|------|---|--|---|
| 必要性  | <b>【市民のニーズ】</b><br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている  | a |
|      | <b>【市が実施する必要性】</b><br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？  | a. 事例はない<br>b. 事例がある   | a |
|      | 評価の理由   | ・お客様からの御意見・御要望が多く寄せられており、市バスお客様サービス向上に対するニーズは薄れていません。<br>・市バスサービスポリシーは、安全・安心な運行サービスを最優先で提供する市バスが市民やお客様の声に応え、市バスが市民やお客様の声に応え、満足を頂くために取り組むことをまとめたものであり、川崎市交通局が自ら取り組んでいく必要があります。      |   |
| 有効性  | <b>【成果】</b><br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない  | c |
|      | 評価の理由   | 「市バスお客様アンケート調査」の総合満足度が昨年度に比べ低下(R1年度:62%⇒R2年度:50.4%)しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、「乗車人数を制限してほしい」や「一番前の座席を使用させてほしい」など、今までにないお客様の声が多く、新型コロナウイルス感染症拡大がお客様の満足度低下の要因であると考えます。                |   |
| 効率性  | <b>【民間の活用】</b><br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b |
|      | <b>【事業手法等の見直し】</b><br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある   | b |
|      | <b>【質の向上】</b><br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b |
|      | 評価の理由   | ・添乗観察業務については、業務の一部を民間委託で実施していますが、その他の業務については、民間活用によるコスト削減の余地があります。<br>・各種業務の契約方法や仕様等について、継続して見直しを実施しており、事務改善の可能性はあります。<br>・実施方法等について検討することで、同一規模の人員・費用でのサービスの質の向上を図ることができる余地があります。 |   |

|                |  |   |
|----------------|--|---|
| <b>施策への貢献度</b> | <b>貢献度区分</b>                             | <b>上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由</b>  |
|                | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い | <b>B</b><br>お客様総合満足度は50.4%と昨年度より低下しましたが、運転手への添乗観察結果に基づき、運転手個人の特性に見合った指導・改善を行うとともに、サービス向上研修等によりお客様サービスの向上を図ることで施策への貢献はありました。 |

## 改善 (Action)

|                                   |  |   |
|-----------------------------------|--|---|
| <b>今後の事業の方向性</b>                  | <b>方向性区分</b>   | <b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>  |
|                                   | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | <b>II</b><br>市バスお客様アンケート調査や添乗観察結果を研修等に活用することで、サービスポリシーの実践を推進し、お客様サービスの向上に取り組んでいきます。サービス向上研修、サービス通信、局報等による「苦情・要望」「賞詞」の紹介や改善に向けた事例周知の実施、お客様の声を事故防止研修等の項目として重点実施、安全性・快適性向上に向けた新たな取組の実施等により、満足度の向上及び不満足度の減少に取り組むとともに、乗車券発売所におけるアンケート用紙の配布を行うことで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による回答数の減を補い、より多くのお客様からの回答の収集を図ります。 |
| <b>今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所</b> | <b>変更前</b><br>(次年度計画上の記載)  |   |
|                                   | <b>変更後</b><br>(上記計画上の記載に対する変更点)  |   |
|                                   | <b>変更の理由</b>   |   |

# 令和2年度 事務事業評価シート

## 事業の概要

|                       |   |                       |             |                          |           |                 |           |           |           |           |           |           |  |
|-----------------------|---|-----------------------|-------------|--------------------------|-----------|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 事務事業                  | 事務事業コード<br>40704050   | 事務事業名<br>市バス移動空間快適化事業 |             |                          |           | 政策体系別計画の記載<br>有 |           |           |           |           |           |           |  |
| 担当                    | 組織コード<br>824100   | 所属名<br>交通局自動車部管理課     |             |                          |           |                 |           |           |           |           |           |           |  |
| 実施期間                  | 事業開始年度  | 事業終了年度                | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等)<br>施設の管理・運営 | 分類2(内部事務) |                 |           |           |           |           |           |           |  |
|                       | —   | —                     |             |                          | —         |                 |           |           |           |           |           |           |  |
| 実施形態                  | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |                       |             |                          |           |                 |           |           |           |           |           |           |  |
| 実施根拠                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等)   |                       |             |                          |           |                 |           |           |           |           |           |           |  |
| 総合計画と連携する計画等          | 国際施策推進プラン,都市計画マスタープラン,総合都市交通計画,市バス事業経営戦略プログラム   |                       |             |                          |           |                 |           |           |           |           |           |           |  |
| 行財政改革第2期プログラムに関連する課題名 | 改革項目  |                       | 課題名         |                          |           |                 |           |           |           |           |           |           |  |
| 予決算<br>(単位:千円)        | 年度  | H30年度                 |             | R1年度                     |           | R2年度            |           | R3年度      |           |           |           |           |  |
|                       |   | 予算額                   | 決算額         | 計画事業費                    | 予算額       | 決算額             | 計画事業費     | 予算額       | 決算額(見込)   | 計画事業費     | 予算額       | 決算額       |  |
|                       | 事業費 A   | 1,800,758             | 1,696,990   | 1,932,112                | 2,060,516 | 1,865,848       | 1,887,498 | 1,987,256 | 1,193,524 | 1,751,500 | 1,729,226 |           |  |
|                       | 財源内訳  | 国庫支出金                 | 23,024      | —                        | 992       | 9,054           | —         | 0         | 11,650    | —         | 0         | 35,386    |  |
|                       |   | 市債                    | 552,000     | —                        | 736,000   | 628,000         | —         | 671,000   | 622,000   | —         | 565,000   | 501,000   |  |
|                       |   | その他特財                 | 1,106,959   | —                        | 1,044,866 | 1,251,659       | —         | 1,042,063 | 1,183,341 | —         | 1,042,165 | 1,041,875 |  |
|                       |   | 一般財源                  | 118,775     | —                        | 150,254   | 171,803         | —         | 174,435   | 170,265   | —         | 144,335   | 150,965   |  |
|                       | 人件費※ B  | 54,208                | 54,208      | 56,074                   | 56,074    | 56,074          | 66,725    | 66,725    | 66,725    | 0         | 0         | 0         |  |
|                       | 総コスト(A+B)   | 1,854,966             | 1,751,198   | 1,988,186                | 2,116,590 | 1,921,922       | 1,954,223 | 2,053,981 | 1,260,249 | 1,751,500 | 1,729,226 | 0         |  |
|                       | 人工(単位:人)  | 6.4                   |             | 6.6                      |           | 7.85            |           |           |           |           |           |           |  |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

## 計画 (Plan)

|   |   |
|---|---|
| 政策体系                                      | 政策<br>総合的な交通体系を構築する   |
|   | 施策<br>市バスの輸送サービスの充実   |
|   | 直接目標<br>安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する  |
| 事業の対象<br>(事業の対象となる人、物)                    | バスを利用する市民等  |
| 事業の目的<br>(対象をどのような状態にしたいか)                | ノンステップバス車両への更新や計画的なバス停留所施設の整備に取り組むことで、バス移動空間の利便性・快適性の向上を図ります。   |
| 事業の内容<br>(どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | バリアフリー化の推進や分かりやすい案内サービスの充実などに取り組めます。  |
| 当該年度の取組内容<br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ①ノンステップバス車両の更新(27両)<br>②巻き取り式車いす固定ベルトの整備<br>③わかりやすい案内サービスの充実に向けた検討・実施<br>④バス停留所施設(上屋、標識、ベンチ等)の整備(上屋:8基、照明付標識:19基、二面式標識:20基) |
| 当初計画からの変更箇所<br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  |   |

## 実施結果 (Do)

|   |   |   |                             |
|---|---|---|-----------------------------|
| 上記「当該年度の取組内容」に対する達成度  | 3   | 1. 目標を大きく上回って達成<br>2. 目標を上回って達成<br>3. ほぼ目標どおり | 4. 目標を下回った<br>5. 目標を大きく下回った |
| 取組内容の実績等<br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | ほぼ目標どおり達成できました。<br>①②新型コロナウイルス感染症による事業環境の変化に対応するため、更新台数を見直したものの、バス車両は全てノンステップバスとし、巻き取り式車いす固定ベルトを設置しました。(11両)<br>③「生田駅」及び「幸区役所入口」停留所の代替整備に合わせて、停留所運行情報表示器を英語表示に対応したLCD型表示器に更新しました。<br>④上屋10基、照明付標識19基、二面式標識20基を計画的に整備しました。 |   |                             |

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績  | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |   |
|------|------------------------------|--|-------|------|------|------|----|---|
| 1    | 活動指標                         | 停留所上屋整備数(代替)                                     | 目標    | 8    | 8    | 8    | —  | 基 |
|      | 説明                           | 老朽化の著しい箇所について建替えを行った基数                           | 実績    | 4    | 7    | 10   | —  |   |
| 2    | 活動指標                         | 照明付標識整備数   | 目標    | 20   | 19   | 19   | —  | 基 |
|      | 説明                           | 老朽化の著しい箇所についてメンテナンスの簡易化及び省エネの観点からLED照明を採用し整備した基数 | 実績    | 20   | 19   | 19   | —  |   |
| 3    | 活動指標                         | 二面式標識整備数   | 目標    | 20   | 20   | 20   | —  | 基 |
|      | 説明                           | 老朽化の著しい箇所について整備を行った基数                            | 実績    | 20   | 20   | 20   | —  |   |
| 4    | 活動指標                         | ベンチ整備数   | 目標    | 73   | 11   | 0    | —  | 脚 |
|      | 説明                           | 耐久性・長寿命化及び都市景観にも配慮したベンチの整備数                      | 実績    | 68   | 11   | —    | —  |   |
| 5    | 活動指標                         | ノンステップバス車両更新数                                    | 目標    | 20   | 25   | 27   | 23 | 両 |
|      | 説明                           | 車両配置計画に基づきノンステップバスの更新を行った車両数                     | 実績    | 20   | 25   | 11   | —  |   |

## 評価 (Check)

|   |   |
|---|---|
| <b>事業を取り巻く社会環境の変化</b><br><small>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)</small> | 近年、外国人観光客等が増加しており、また、「東京2020オリンピック、パラリンピック競技大会」の開催など、今後も本市を訪れる外国人観光客等の増加が見込まれることから、その利便性向上が求められています。  |
| <b>事業の見直し・改善内容</b>  | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 1 年度 <input type="checkbox"/> 未実施   |
| 具体的な見直し・改善内容<br>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載                           | R1年度 : 市バスナビ運行情報にアクセスしやすいように接続するための二次元バーコードを全停留所に掲示しました。<br>H30年度 : 市バスナビの機能強化及びインバウンド対応の多言語化を実施しました。<br>川崎駅自由通路へバス総合案内表示板を設置するとともに、多言語対応を実施しました。<br>H29年度 : バス車両使用年数の延長等による車両更新計画の見直しを行いました。<br>H28年度 : タブレット型等運行情報表示器について、英語表示に対応したものを導入しました。 |

| 評価項目    |   | 評価   |  |
|---------|---|--|--|
| 必要性     | <b>【市民のニーズ】</b><br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている  | a  |
|         | <b>【市が実施する必要性】</b><br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？  | a. 事例はない<br>b. 事例がある   | b  |
|         | 評価の理由   | 市バスの移動空間快適化は、お客様の利便性やサービスの向上のために必要な取組です。   |  |
| 有効性     | <b>【成果】</b><br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない  | b  |
|         | 評価の理由   | 市バスの移動空間快適化により、お客様の利便性やサービスを向上できていることから、成果は徐々に上がっています。   |  |
| 効率性     | <b>【民間の活用】</b><br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b  |
|         | <b>【事業手法等の見直し】</b><br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある   | b  |
|         | <b>【質の向上】</b><br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b  |
|         | 評価の理由   | 上屋の建替えにおける標識とベンチの一体型の採用、都市景観・長寿命化に配慮した座りやすいベンチの採用、広告付バス停留所の整備など、仕様の見直しによる維持費等の削減や市民サービスの向上に取り組んでいます。 |  |
| 施策への貢献度 | <b>貢献度区分</b>  | <b>上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由</b>   |  |
|         | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い  | A  | 市バスは民間事業者と比べて上屋、ベンチの設置率が高く、公営バスの役割として、高齢化等を踏まえた移動空間快適化によるお客様の利便性やサービスの維持・向上を図ることができたことから、施策に貢献しています。 |

## 改善 (Action)

|                            |  |                                      |
|----------------------------|--|--------------------------------------|
| 今後の事業の方向性                  | <b>方向性区分</b>   | <b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b> |
|                            | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | II                                   |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所 | <b>変更前</b><br><small>(次年度計画上の記載)</small>                                       |                                      |
|                            | <b>変更後</b><br><small>(上記計画上の記載に対する変更点)</small>                                 |                                      |
|                            | <b>変更の理由</b>   |                                      |

# 令和2年度 事務事業評価シート

| 事業の概要                        |   |                      |                    |         |                            |                              |         |           |            |         |         |         |     |
|------------------------------|---|----------------------|--------------------|---------|----------------------------|------------------------------|---------|-----------|------------|---------|---------|---------|-----|
| <b>事務事業</b>                  | 事務事業コード   | 40704060 市バス事業基盤強化事業 |                    |         |                            |                              |         |           | 政策体系別計画の記載 |         | 有       |         |     |
|                              | <b>担当</b>   | 組織コード                | 822100 交通局企画管理部庶務課 |         |                            |                              |         |           |            |         |         |         |     |
| <b>実施期間</b>                  | 事業開始年度  | 事業終了年度               | 事務・サービスの分類         |         |                            | 分類1(市民サービス等)                 |         | 分類2(内部事務) |            |         |         |         |     |
|                              | —   | —                    | その他                |         |                            | その他                          |         | 内部管理      |            |         |         |         |     |
| <b>実施形態</b>                  | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |                      |                    |         |                            |                              |         |           |            |         |         |         |     |
| <b>実施根拠</b>                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等) 地方公務員法、労働安全衛生法、労働安全衛生規則、川崎市職員の任用に関する規則等         |                      |                    |         |                            |                              |         |           |            |         |         |         |     |
| <b>総合計画と連携する計画等</b>          | 市バス事業経営戦略プログラム  |                      |                    |         |                            |                              |         |           |            |         |         |         |     |
| <b>行財政改革第2期プログラムに関連する課題名</b> | 改革項目  |                      |                    |         |                            | 課題名                          |         |           |            |         |         |         |     |
|                              | 取組2(10)公営企業の経営改善  |                      |                    |         |                            | 6 市バス事業における労働の生産性向上に向けた取組の強化 |         |           |            |         |         |         |     |
| 取組2(10)公営企業の経営改善             |   |                      |                    |         | 7 市バスの安定的な事業運営に向けた人材の確保と育成 |                              |         |           |            |         |         |         |     |
| <b>予決算</b><br>(単位:千円)        | 年度  |                      | H30年度              |         | R1年度                       |                              | R2年度    |           | R3年度       |         |         |         |     |
|                              |   |                      | 予算額                | 決算額     | 計画事業費                      | 予算額                          | 決算額     | 計画事業費     | 予算額        | 決算額(見込) | 計画事業費   | 予算額     | 決算額 |
|                              | 事業費 A   |                      | 150,322            | 569,488 | 636,745                    | 88,112                       | 99,802  | 200,703   | 646,520    | 675,794 | 250,928 | 223,842 |     |
|                              | 財<br>源<br>内<br>訳  | 国庫支出金                | 0                  | -       | 0                          | 0                            | -       | 0         | 0          | -       | 0       | 0       |     |
|                              |   | 市債                   | 119,000            | -       | 615,000                    | 58,000                       | -       | 176,000   | 621,000    | -       | 229,000 | 199,000 |     |
|                              |   | その他特財                | 31,322             | -       | 21,745                     | 30,112                       | -       | 24,703    | 25,520     | -       | 21,928  | 24,842  |     |
|                              |   | 一般財源                 | 0                  | -       | 0                          | 0                            | -       | 0         | 0          | -       | 0       | 0       |     |
|                              | 人件費※ B  |                      | 24,140             | 24,140  | 24,214                     | 24,214                       | 24,214  | 19,125    | 19,125     | 19,125  | 0       | 0       | 0   |
|                              | 総コスト(A+B)   |                      | 174,462            | 593,628 | 660,959                    | 112,326                      | 124,016 | 219,828   | 665,645    | 694,919 | 250,928 | 223,842 | 0   |
|                              | 人工(単位:人)  |                      | 2.85               |         | 2.85                       |                              | 2.25    |           |            |         |         |         |     |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 計画 (Plan)  |   |           |               |           |               |             |                          |
|--|---|-----------|---------------|-----------|---------------|-------------|--------------------------|
| <b>政策体系</b>                                      | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"><b>政策</b></td> <td>総合的な交通体系を構築する</td> </tr> <tr> <td><b>施策</b></td> <td>市バスの輸送サービスの充実</td> </tr> <tr> <td><b>直接目標</b></td> <td>安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する</td> </tr> </table> | <b>政策</b> | 総合的な交通体系を構築する | <b>施策</b> | 市バスの輸送サービスの充実 | <b>直接目標</b> | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する |
| <b>政策</b>  | 総合的な交通体系を構築する   |           |               |           |               |             |                          |
| <b>施策</b>  | 市バスの輸送サービスの充実   |           |               |           |               |             |                          |
| <b>直接目標</b>                                      | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する  |           |               |           |               |             |                          |
| <b>事業の対象</b><br>(事業の対象となる人、物)                    | ①採用 運転手=大型自動車第二種免許保有者、整備員=二級自動車整備士免許(ガソリンまたはジーゼル)以上保有又は取得見込者<br>②上中間営業所、鷲ヶ峰営業所<br>③研修 職員  |           |               |           |               |             |                          |
| <b>事業の目的</b><br>(対象をどのような状態にしたいか)                | 人材の確保・育成や営業所の計画的整備などにより、安定的な事業基盤を構築します。   |           |               |           |               |             |                          |
| <b>事業の内容</b><br>(どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | ①各種広報によって受験者増を図り、筆記、面接、実技等選考の実施によって、より質の高い職員を採用します。<br>②費用対効果を考慮した設計・工事を実施します。<br>③職員の意識改革の取組や職種ごとの研修計画に基づく研修を実施します。  |           |               |           |               |             |                          |
| <b>当該年度の取組内容</b><br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ①正規運転手・公募非常勤嘱託運転手(会計年度任用職員)・整備員の計画的な採用<br>②多様な採用選考の実施<br>③女性や高齢者などの多様な働き方の推進<br>④職員提案制度の運用<br>⑤運転技能コンクールの開催<br>⑥職種別研修の実施<br>⑦上中間営業所建替整備の推進(外構整備の推進)   |           |               |           |               |             |                          |
| <b>当初計画からの変更箇所</b><br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  | ⑦上中間営業所建替整備の推進(整備場棟の供用開始及び外構整備の推進)【変更】  |           |               |           |               |             |                          |

| 実施結果 (Do)  |  |                                       |  |             |             |             |           |   |
|--|--|---------------------------------------|--|-------------|-------------|-------------|-----------|---|
| <b>上記「当該年度の取組内容」に対する達成度</b>  | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">3</td> <td>           1. 目標を大きく上回って達成<br/>           2. 目標を上回って達成<br/>           3. ほぼ目標どおり<br/>           4. 目標を下回った<br/>           5. 目標を大きく下回った         </td> </tr> </table>   | 3                                     | 1. 目標を大きく上回って達成<br>2. 目標を上回って達成<br>3. ほぼ目標どおり<br>4. 目標を下回った<br>5. 目標を大きく下回った |             |             |             |           |   |
| 3  | 1. 目標を大きく上回って達成<br>2. 目標を上回って達成<br>3. ほぼ目標どおり<br>4. 目標を下回った<br>5. 目標を大きく下回った   |                                       |  |             |             |             |           |   |
| <b>取組内容の実績等</b><br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | <p>ほぼ目標どおり達成できました。</p> <p>①②③大型二種免許保有者が年々減少している厳しい状況の中でも、退職動向等を踏まえながら正規運転手、正規整備員及び公募非常勤嘱託運転手(会計年度任用職員)について、交通局ホームページ、新聞広告、民間求人サイト、SNS、市バスラッピング広告など積極的な広報に取り組み、とりわけ公募非常勤嘱託運転手(会計年度任用職員)については、経営状況や多様な働き方への対応を考慮した活用を図るため、随時募集の実施や応募者の希望日時・配属希望営業所での採用選考などを実施し、さらに、大型自動車第二種免許を保有していない若年層の採用に向けて、運転手(養成枠)の採用選考を行い、全体として計画的な人材確保を実施しました。なお、公募非常勤嘱託運転手(会計年度任用職員)については、ダイヤ改正等の影響により職員数を確保する必要がなくなったことから、目標は達成しませんが、引き続き、適切な人材確保に取り組みます。</p> <p>④職員提案制度は、優良賞1件、努力賞2件の表彰をしました。</p> <p>⑤運転技能コンクールは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しました。次年度以降については、運転手技能コンクールは実施せず、運転手のモチベーション向上のための新たな手法を検討し、実施することで、効果の補完を図ります。</p> <p>⑥運転手は、事故防止やサービス向上等について、事務職員等は運行管理能力の向上等各研修を実施しました。</p> <p>⑦上中間営業所整備場棟については、令和2年12月に整備場棟が完成及び運用を開始しました。令和3年1月に上中間営業所附帯その他改築工事契約を締結し、同年2月より工事に着手しました。</p> |                                       |  |             |             |             |           |   |
| <b>指標分類</b>  | <b>数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)</b>  | <b>目標・実績</b>                          | <b>H30年度</b>   | <b>R1年度</b> | <b>R2年度</b> | <b>R3年度</b> | <b>単位</b> |   |
| 1  | <b>活動指標</b>  | <b>市長表彰制度の運用</b>                      | 目標   | 1           | 1           | 1           | 1         | 回 |
|  | <b>説明</b>  | 各年度において勤務成績が特に優秀な職員を市長から表彰する市長表彰制度の運用 | 実績   | 1           | 1           | 1           | -         |   |

|   |      |                        |   |    |      |      |      |      |   |
|---|------|------------------------|---|----|------|------|------|------|---|
| 2 | 活動指標 | 職員提案制度の運用              |   | 目標 | 1    | 1    | 1    | 1    | 回 |
|   |      | 説明                     | 交通局職員から事務改善に資する提案を募集し優れた提案を表彰する職員提案制度の運用                |    |      | 実績   | 1    | 1    |   |
| 3 | 活動指標 | 技能コンクールの実施回数           |   | 目標 | 1    | 1    | 1    | 1    | 回 |
|   |      | 説明                     | 各営業所の代表運転手が安全・サービスの技能を競い合い市民代表も含めた審査員が評価を行う技能コンクールの実施回数 |    |      | 実績   | 1    | 0    |   |
| 4 | 成果指標 | 公募非常勤嘱託運転手職員数(年度当初在籍者) |   | 目標 | 42以上 | 42以上 | 42以上 | 42以上 | 人 |
|   |      | 説明                     | 翌年度4月1日に在籍している公募非常勤嘱託運転手数                               |    |      | 実績   | 39   | 47   |   |

|  |   |  |                                  |   |  |
|--|---|--|----------------------------------|---|--|
| <b>事業を取り巻く社会環境の変化</b><br>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) |   | 大型二種免許保有者の減少・高齢化   |                                  |   |  |
| <b>事業の見直し・改善内容</b>                               |   | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R <b>2</b> 年度 <input type="checkbox"/> 未実施   |                                  |   |  |
| 具体的な見直し・改善内容<br>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載            |   | R2年度: 正規運転手の採用時期を8月から4月に前倒しました。<br>R1年度: 正規運転手の採用時期を10月から8月に前倒しました。大型自動車二種免許を保有していない若年層の採用に向けて、新たに運転手(養成枠)の採用選考を実施しました。運転手の求人広告の強化のため、バス車両のパートナーシップ広告を新たに実施しました。<br>H30年度: 正規運転手の採用選考について、応募者への配慮から、選考スケジュールを見直し、第2次選考の実施日から採用日までの期間を5か月から3か月に短縮しました。<br>H29年度: 公募非常勤嘱託運転手の求人広告の強化のため、新聞広告への掲載の見直しを行うとともに、新たなWeb広告への掲載を実施しました。正規運転手の受験資格年齢を48歳未満から50歳未満に拡大しました。<br>H28年度: 公募非常勤嘱託運転手の求人広告の強化のため、1都8県(関東地方・静岡・山梨)の各都県販売シェア1・2位の新聞全てに求人広告を掲載しました。短時間勤務(週20時間勤務)の職を直営全営業所に拡大しました。<br>H27年度: 応募者のニーズに合わせて、配属希望営業所において都合のよい受験日で実技選考を実施するとともに、優良な公募非常勤嘱託運転手について、正規採用選考時の実技試験を免除しました。また、高齢者や女性などの多様なライフスタイルに対応可能な短時間勤務(週20時間勤務)の職を設置しました。 |                                  |   |  |
|  |   | <b>評価項目</b>  |                                  | <b>評価</b>   |  |
| 必要性  | <b>【市民のニーズ】</b><br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている  |                                  | a   |  |
|  | <b>【市が実施する必要性】</b><br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？  | a. 事例はない<br>b. 事例がある   |                                  | a   |  |
| 評価の理由  |   | 市バスネットワークの維持・充実や持続可能な事業運営を図るため、引き続き人材の確保・育成や営業所の計画的整備などが必要です。  |                                  |   |  |
| 有効性  | <b>【成果】</b><br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない  |                                  | a   |  |
|  | 評価の理由   | 公募非常勤嘱託運転手(会計年度任用職員)の採用については、随時募集の実施や応募者の希望日時・配属希望営業所での採用選考などを実施するとともに、交通局ホームページに加えて、新聞広告や民間求人サイト、SNS、市バスラッピング広告を活用するなど積極的な広報に取り組みだことにより、ほぼ目標どおりの採用が可能となり、市バス事業の基盤強化につながりました。  |                                  |   |  |
| 効率性  | <b>【民間の活用】</b><br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  |                                  | b   |  |
|  | <b>【事業手法等の見直し】</b><br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある   |                                  | b   |  |
|  | <b>【質の向上】</b><br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  |                                  | b   |  |
| 評価の理由  |   | 上平間・井田営業所を管理委託していますが、直営営業所の人材確保や職種別研修の実施などにより、職員自身の業務改善や質の向上に引き続き取り組みます。   |                                  |   |  |
| <b>施策への貢献度</b>                                   | <b>貢献度区分</b>  |  | <b>上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由</b> |   |  |
|  | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い  | <b>B</b>   |                                  | 積極的な求人広告として、交通局ホームページに加えて、新聞広告や民間求人サイト、SNSを活用するなどの広報に取り組み、公募非常勤嘱託運転手(会計年度任用職員)をほぼ目標どおり採用することができたことで、市バス事業の基盤強化につながりました。 |  |

|                                   |  |                                 |  |
|-----------------------------------|--|---------------------------------|--|
| <b>改善 (Action)</b>                |  |                                 |  |
| <b>今後の事業の方向性</b>                  | <b>方向性区分</b>   | <b>II</b>                       | <b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b><br>市バスネットワークの維持・充実や持続可能な事業運営を図るため、人材の確保・育成や営業所の計画的整備などを今後も継続的に実施していきます。 |
|                                   | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 |                                 |  |
| <b>今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所</b> |  | <b>変更前</b><br>(次年度計画上の記載)       |  |
|                                   |  | <b>変更後</b><br>(上記計画上の記載に対する変更点) |  |
|                                   |  | <b>変更の理由</b>                    |  |

# 令和2年度 事務事業評価シート

## 事業の概要

|                       |   |                   |             |                     |                |                 |        |        |         |        |        |        |  |
|-----------------------|---|-------------------|-------------|---------------------|----------------|-----------------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--|
| 事務事業                  | 事務事業コード<br>40704073   | 事務事業名<br>市バス収益性事業 |             |                     |                | 政策体系別計画の記載<br>有 |        |        |         |        |        |        |  |
| 担当                    | 組織コード<br>824100   | 所属名<br>交通局自動車部管理課 |             |                     |                |                 |        |        |         |        |        |        |  |
| 実施期間                  | 事業開始年度<br>—   | 事業終了年度<br>—       | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等)<br>その他 | 分類2(内部事務)<br>— |                 |        |        |         |        |        |        |  |
| 実施形態                  | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |                   |             |                     |                |                 |        |        |         |        |        |        |  |
| 実施根拠                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等)   |                   |             |                     |                |                 |        |        |         |        |        |        |  |
| 総合計画と連携する計画等          | 市バス事業経営戦略プログラム  |                   |             |                     |                |                 |        |        |         |        |        |        |  |
| 行財政改革第2期プログラムに関連する課題名 | 改革項目  |                   | 課題名         |                     |                |                 |        |        |         |        |        |        |  |
| 予決算<br>(単位:千円)        | 年度  | H30年度             |             | R1年度                |                | R2年度            |        | R3年度   |         |        |        |        |  |
|                       |   | 予算額               | 決算額         | 計画事業費               | 予算額            | 決算額             | 計画事業費  | 予算額    | 決算額(見込) | 計画事業費  | 予算額    | 決算額    |  |
|                       | 事業費 A   | 21,985            | 18,203      | 21,830              | 26,014         | 19,025          | 22,138 | 21,020 | 14,805  | 21,830 | 24,563 |        |  |
|                       | 財源内訳  | 国庫支出金             | 0           | —                   | 0              | 0               | —      | 0      | 0       | —      | 0      | 0      |  |
|                       |   | 市債                | 0           | —                   | 0              | 0               | —      | 0      | 0       | —      | 0      | 0      |  |
|                       |   | その他特財             | 21,985      | —                   | 21,830         | 26,014          | —      | 22,138 | 21,020  | —      | 21,830 | 24,563 |  |
|                       |   | 一般財源              | 0           | —                   | 0              | 0               | —      | 0      | 0       | —      | 0      | 0      |  |
| 人件費※ B                | 12,705  | 12,705            | 13,594      | 13,594              | 13,594         | 21,250          | 21,250 | 21,250 | 0       | 0      | 0      |        |  |
| 総コスト(A+B)             | 34,690  | 30,908            | 35,424      | 39,608              | 32,619         | 43,388          | 42,270 | 36,055 | 21,830  | 24,563 | 0      |        |  |
| 人工(単位:人)              | 1.5   |                   | 1.6         |                     | 2.5            |                 |        |        |         |        |        |        |  |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

## 計画 (Plan)

|   |  |
|---|--|
| 政策体系                                      | 政策 総合的な交通体系を構築する<br>施策 市バスの輸送サービスの充実<br>直接目標 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する  |
| 事業の対象<br>(事業の対象となる人、物)                    | バス路線近隣の事業者等、学校や企業など団体  |
| 事業の目的<br>(対象をどのような状態にしたいか)                | バス車内外スペースへの広告掲載等や、団体の移動手段として市バス車両を活用することにより収益確保を図ります。  |
| 事業の内容<br>(どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | 市バス車内外の空きスペースに広告を掲載するほか、ラッピングバスを運行することにより、収益を確保します。ラッシュ時を除く時間帯の市バス車両の有効活用手段として、貸切バス事業を行い、学校の社会見学や遠足での利用、企業やイベントでの移動手段として御利用いただきます。 |
| 当該年度の実行内容<br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の実行) | ①貸切バス事業の推進<br>②広告事業の推進(新たな広告媒体を検討)   |
| 当初計画からの変更箇所<br>(上記計画に記載されている内容から変更となる実行)  |  |

## 実施結果 (Do)

|   |   |  |
|---|---|--|
| 上記「当該年度の実行内容」に対する達成度  | 4   | 1. 目標を大きく上回って達成<br>2. 目標を上回って達成<br>3. ほぼ目標どおり<br>4. 目標を下回った<br>5. 目標を大きく下回った |
| 実行内容の実績等<br>(上記に掲げた実行内容に対し、「数値等」でより具体的に実績を示すことができる取組、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標を下回りました。<br>①貸切バスについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、競馬輸送が年度内全面運休、競輪は一部期間運休となったほか、イベント輸送は0件、小学校の児童輸送も大幅に減少しました。貸切バスについては、イベントの開催状況、小学校の校外学習等の実施状況をみながら、可能な限り受注できるよう、調整をしていきます。<br>②広告については、ラッピングバスの掲出終了などによる減車があったほか、緊急事態宣言期間中等にはポスター掲出中止等が相次ぎましたが、放送広告・車外看板広告等は順調に受注し、昨年度に比べ微減となりました。 |  |

| 指標分類   | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)   | 目標・実績 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位  |
|--------|--|-------|-------|------|------|------|-----|
| 1 成果指標 | 貸切バス事業収入<br>説明 学校・企業・各種団体等の一般貸切、競馬・競輪輸送、大規模イベントにおける来客者輸送等の貸切バス事業としての収入 | 目標    | 62    | 62   | 62   | 62   | 百万円 |
|        |  | 実績    | 75    | 57   | 12   | —    |     |
| 2 成果指標 | 広告料収入<br>説明 車内ポスター、車内放送、社外パネル、ラッピング等の広告収入                              | 目標    | 75    | 75   | 75   | 75   | 百万円 |
|        |  | 実績    | 79    | 82   | 78   | —    |     |
| 3      | 説明   | 目標    |       |      |      | —    |     |
|        |  | 実績    |       |      |      |      |     |
| 4      | 説明   | 目標    |       |      |      | —    |     |
|        |  | 実績    |       |      |      |      |     |

## 評価 (Check)

|  |   |
|--|---|
| <b>事業を取り巻く社会環境の変化</b><br>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 事業経営の根幹である乗車料収入は大幅な増収が見込めない中、貸切バス事業及び広告事業の収益性事業に関しても、法改正による貸切バスの事業許可更新制の導入や経済状況の変化等により、収益力向上について大変厳しい状況が見込まれています。 |
| <b>事業の見直し・改善内容</b>                               | <input type="checkbox"/> 実施 (直近) H 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施                                     |
| 具体的な見直し・改善内容<br>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載            |   |

| 評価項目    |   | 評価  |  |
|---------|---|---|--|
| 必要性     | <b>【市民のニーズ】</b><br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている   | b  |
|         | <b>【市が実施する必要性】</b><br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？  | a. 事例はない<br>b. 事例がある  | b  |
|         | 評価の理由   | 貸切バス事業については、小学校の校外学習等での需要は見込めますが、新型コロナウイルス感染症の影響でニーズは減少すると思われず。広告宣伝事業については、地域に密着し、多くのお客様の目に触れる広告媒体として御利用いただいています。 |  |
| 有効性     | <b>【成果】</b><br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない   | c  |
|         | 評価の理由   | 新型コロナウイルスの影響を大きく受ける事業のため、今後、成果指標の上昇は見込めません。   |  |
| 効率性     | <b>【民間の活用】</b><br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み   | b  |
|         | <b>【事業手法等の見直し】</b><br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある  | b  |
|         | <b>【質の向上】</b><br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み   | b  |
|         | 評価の理由   | 貸切バス事業については、お客様の要望に対し可能な限り受注ができるよう、運行方法の提案を行っています。広告宣伝事業については、新たな広告代理店との契約を行い、新規広告主の獲得などに努めています。                  |  |
| 施策への貢献度 | <b>貢献度区分</b>  | <b>上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由</b>  |  |
|         | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い  | B   | 新型コロナウイルスの影響を大きく受ける事業ですが、依頼のあった運行や広告の受注を確実に受け、収益を確保していきます。 |

## 改善 (Action)

|                            |  |                                      |
|----------------------------|--|--------------------------------------|
| 今後の事業の方向性                  | <b>方向性区分</b>   | <b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b> |
|                            | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | IV                                   |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所 | <b>変更前</b><br>(次年度計画上の記載)  |                                      |
|                            | <b>変更後</b><br>(上記計画上の記載に対する変更点)  |                                      |
|                            | <b>変更の理由</b>   |                                      |

# 令和2年度 事務事業評価シート

## 事業の概要

|                              |   |                        |             |                          |                  |                 |           |             |           |           |           |     |  |
|------------------------------|---|------------------------|-------------|--------------------------|------------------|-----------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----|--|
| <b>事務事業</b>                  | 事務事業コード<br>40704075   | 事務事業名<br>市バス営業所の管理委託事業 |             |                          |                  | 政策体系別計画の記載<br>有 |           |             |           |           |           |     |  |
| <b>担当</b>                    | 組織コード<br>824100   | 所属名<br>交通局自動車部管理課      |             |                          |                  |                 |           |             |           |           |           |     |  |
| <b>実施期間</b>                  | 事業開始年度<br>—   | 事業終了年度<br>—            | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等)<br>その他      | 分類2(内部事務)<br>その他 |                 |           |             |           |           |           |     |  |
| <b>実施形態</b>                  | <input type="checkbox"/> 市が直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |                        |             |                          |                  |                 |           |             |           |           |           |     |  |
| <b>実施根拠</b>                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等) 道路運送法、交通局関係の条例・規程等                              |                        |             |                          |                  |                 |           |             |           |           |           |     |  |
| <b>総合計画と連携する計画等</b>          | 市バス事業経営戦略プログラム  |                        |             |                          |                  |                 |           |             |           |           |           |     |  |
| <b>行財政改革第2期プログラムに関連する課題名</b> | 改革項目<br>取組2(10)公営企業の経営改善  |                        |             | 課題名<br>5市バス営業所業務の管理委託の活用 |                  |                 |           |             |           |           |           |     |  |
| <b>予決算</b><br>(単位:千円)        | <b>年度</b>   | <b>H30年度</b>           |             | <b>R1年度</b>              |                  | <b>R2年度</b>     |           | <b>R3年度</b> |           |           |           |     |  |
|                              |   | 予算額                    | 決算額         | 計画事業費                    | 予算額              | 決算額             | 計画事業費     | 予算額         | 決算額(見込)   | 計画事業費     | 予算額       | 決算額 |  |
|                              | <b>事業費 A</b>  | 2,134,431              | 2,088,562   | 2,134,431                | 2,308,287        | 2,230,158       | 2,134,431 | 2,244,423   | 2,235,253 | 2,134,431 | 2,320,659 |     |  |
|                              | <b>財源内訳</b>   |                        |             |                          |                  |                 |           |             |           |           |           |     |  |
|                              | 国庫支出金   | 0                      | -           | 0                        | 0                | -               | 0         | 0           | -         | 0         | 0         |     |  |
|                              | 市債  | 0                      | -           | 0                        | 0                | -               | 0         | 0           | -         | 0         | 0         |     |  |
|                              | その他特財<br>一般財源   | 2,134,431              | -           | 2,134,431                | 2,308,287        | -               | 2,134,431 | 2,244,423   | -         | 2,134,431 | 2,320,659 |     |  |
| <b>人件費※ B</b>                | 8,639   | 8,639                  | 7,816       | 7,816                    | 7,816            | 17,765          | 17,765    | 17,765      | 0         | 0         | 0         |     |  |
| <b>総コスト(A+B)</b>             | 2,143,070   | 2,097,201              | 2,142,247   | 2,316,103                | 2,237,974        | 2,152,196       | 2,262,188 | 2,253,018   | 2,134,431 | 2,320,659 | 0         |     |  |
| <b>人工(単位:人)</b>              | 1.02  |                        | 0.92        |                          | 2.09             |                 |           |             |           |           |           |     |  |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

## 計画 (Plan)

|  |  |  |
|--|--|--|
| <b>政策体系</b>                                      | <b>政策</b> 総合的な交通体系を構築する<br><b>施策</b> 市バスの輸送サービスの充実<br><b>直接目標</b> 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する |  |
| <b>事業の対象</b><br>(事業の対象となる人、物)                    | バスを利用する市民等   |  |
| <b>事業の目的</b><br>(対象をどのような状態にしたいか)                | 営業所の運行管理業務等を民間バス事業者へ委託することで、経営資源の効率化及び市民サービスの向上を図ります。                                      |  |
| <b>事業の内容</b><br>(どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | ・上平間営業所及び井田営業所を対象に、運行管理業務等を民間バス事業者へ委託する「管理の受委託」を実施します。<br>・営業所管轄路線の見直しを行い、委託規模を拡大します。      |  |
| <b>当該年度の取組内容</b><br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ①上平間営業所及び井田営業所における管理委託の継続<br>②営業所管理委託事業者選定委員会(年4回)・評価委員会(年3回)                              |  |
| <b>当初計画からの変更箇所</b><br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  |  |  |

## 実施結果 (Do)

|  |  |  |
|--|--|--|
| <b>上記「当該年度の取組内容」に対する達成度</b>  | <b>3</b>   | 1. 目標を大きく上回って達成    4. 目標を下回った<br>2. 目標を上回って達成    5. 目標を大きく下回った<br>3. ほぼ目標どおり |
| <b>取組内容の実績等</b><br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | ほぼ目標どおり達成できました。<br>①上平間営業所及び井田営業所で前年度に引き続き管理の受委託を実施しました。当初計画していた委託規模の拡大にはいたっていませんが、管轄路線に見合った委託は実施できました。<br>②9月、12月(2回)、1月に選定委員会を開催しました。(年4回) 6月、7月、2月に評価委員会を開催しました。(年3回) |  |

| 指標分類   | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)                   | 目標・実績 | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位 |
|--------|--|-------|-------|------|------|------|----|
| 1 成果指標 | <b>井田営業所の委託車両数</b><br>説明 管理委託営業所である井田営業所の在籍車両数 | 目標    | 55    | 59   | 64   | -    | 両  |
|        |  | 実績    | 55    | 59   | 59   | -    |    |
| 2      | 説明   | 目標    |       |      |      | -    |    |
|        |  | 実績    |       |      |      | -    |    |
| 3      | 説明   | 目標    |       |      |      | -    |    |
|        |  | 実績    |       |      |      | -    |    |
| 4      | 説明   | 目標    |       |      |      | -    |    |
|        |  | 実績    |       |      |      | -    |    |

| 評価 (Check)                                       |   |  |  |
|--|---|--|--|
| <b>事業を取り巻く社会環境の変化</b><br>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) |   | 事業経営の根幹である乗車料収入は大幅な増収が見込めない中、社会経済環境の変化等により経費が増加するなど、市バス事業を取り巻く環境は大変厳しい状況が見込まれているため、コスト削減などに取り組む必要があります。  |  |
| <b>事業の見直し・改善内容</b>                               |   | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) H 29 年度 <input type="checkbox"/> 未実施   |  |
| 具体的な見直し・改善内容<br>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載            |   | H29年度: 上平間営業所及び井田営業所における管理委託を実施しました。   |  |
| 評価項目   |   | 評価   |  |
| 必要性  | <b>【市民のニーズ】</b><br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか？  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている  | a  |
|  | <b>【市が実施する必要性】</b><br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか？  | a. 事例はない<br>b. 事例がある   | b  |
|  | 評価の理由   | 社会環境の変化(高齢化・少子化等)に伴い、バスに対する需要は増加しているものの、運転手不足等の理由から供給が追い付かない状況にあり、地域の課題やニーズに対処しきめ細やかに対応するためには、直営での事業運営を行っていく必要があるとともに、管理委託による経営の効率化を図ることも重要です。 |  |
| 有効性  | <b>【成果】</b><br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか？   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない  | a  |
|  | 評価の理由   | 上平間営業所及び井田営業所の管理委託を行うことで、費用面の減減を図っており、交通局の経営改善に大きく寄与しています。   |  |
| 効率性  | <b>【民間の活用】</b><br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか？                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | c  |
|  | <b>【事業手法等の見直し】</b><br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか？           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある   | b  |
|  | <b>【質の向上】</b><br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか？ | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b  |
|  | 評価の理由   | 管理委託については、委託規模や路線の見直しによって効果が大きく変化するものであるため、直営のネットワークの効率性や新型コロナウイルス感染症による乗車人員の減少を踏まえて検討していく必要があります。   |  |
| 施策への貢献度  | <b>貢献度区分</b>  | <b>上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由</b>   |  |
|  | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い  | <b>B</b>   | 管理の受委託による財政効果は、非常に大きなものとなっており、経営の効率化という観点から施策へ貢献しています。 |

| 改善 (Action)                |  |                                      |   |
|----------------------------|--|--------------------------------------|---|
| 今後の事業の方向性                  | <b>方向性区分</b>   | <b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b> |   |
|                            | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | <b>II</b>                            | 管理委託については、継続をしていきますが、委託規模については、新型コロナウイルス感染症による乗車人員の減少を踏まえた今後の市バスネットワークを考慮する中で、調整していきます。 |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所 | <b>変更前</b><br>(次年度計画上の記載)  |                                      |   |
|                            | <b>変更後</b><br>(上記計画上の記載に対する変更点)  |                                      |   |
|                            | <b>変更の理由</b>   |                                      |   |

# 令和2年度 事務事業評価シート

## 事業の概要

|                       |   |            |             |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
|-----------------------|---|------------|-------------|--------------|-----------|------------|--------|--------|---------|-------|-------|-------|--|
| 事務事業                  | 事務事業コード   | 事務事業名      |             |              |           | 政策体系別計画の記載 |        |        |         |       |       |       |  |
|                       | 40704080  | 市バス地域貢献事業  |             |              |           | 有          |        |        |         |       |       |       |  |
| 担当                    | 組織コード   | 所属名        |             |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
|                       | 824100  | 交通局自動車部管理課 |             |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 実施期間                  | 事業開始年度  | 事業終了年度     | 事務・サービス等の分類 | 分類1(市民サービス等) | 分類2(内部事務) |            |        |        |         |       |       |       |  |
|                       | —   | —          |             | その他          | —         |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 実施形態                  | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |            |             |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 実施根拠                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度<br>(法令・要綱等)   |            |             |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 総合計画と連携する計画等          | 総合都市交通計画,市バス事業経営戦略プログラム   |            |             |              |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 行財政改革第2期プログラムに関連する課題名 | 改革項目  |            |             | 課題名          |           |            |        |        |         |       |       |       |  |
| 予決算<br>(単位:千円)        | 年度  | H30年度      |             | R1年度         |           | R2年度       |        | R3年度   |         |       |       |       |  |
|                       |   | 予算額        | 決算額         | 計画事業費        | 予算額       | 決算額        | 計画事業費  | 予算額    | 決算額(見込) | 計画事業費 | 予算額   | 決算額   |  |
|                       | 事業費 A   | 26,268     | 24,712      | 25,108       | 16,816    | 22,001     | 25,202 | 27,751 | 9,357   | 5,686 | 3,841 |       |  |
|                       | 財源内訳  | 国庫支出金      | 0           | —            | 0         | 0          | —      | 0      | 0       | —     | 0     | 0     |  |
|                       |   | 市債         | 0           | —            | 0         | 0          | —      | 0      | 0       | —     | 0     | 0     |  |
|                       |   | その他特財      | 26,268      | —            | 25,108    | 16,816     | —      | 25,202 | 27,751  | —     | 5,686 | 3,841 |  |
|                       |   | 一般財源       | 0           | —            | 0         | 0          | —      | 0      | 0       | —     | 0     | 0     |  |
|                       | 人件費※ B  | 16,517     | 16,517      | 17,842       | 17,842    | 17,842     | 29,750 | 29,750 | 29,750  | 0     | 0     | 0     |  |
|                       | 総コスト(A+B)   | 42,785     | 41,229      | 42,950       | 34,658    | 39,843     | 54,952 | 57,501 | 39,107  | 5,686 | 3,841 | 0     |  |
|                       | 人工(単位:人)  | 1.95       |             | 2.1          |           | 3.5        |        |        |         |       |       |       |  |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

## 計画 (Plan)

|   |  |                          |
|---|--|--------------------------|
| 政策体系                                      | 政策   | 総合的な交通体系を構築する            |
|   | 施策   | 市バスの輸送サービスの充実            |
|   | 直接目標   | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する |
| 事業の対象<br>(事業の対象となる人、物)                    | バスを利用する市民等   |                          |
| 事業の目的<br>(対象をどのような状態にしたいか)                | 地域社会の一員として、市バスをより身近に感じていただけるよう地域貢献に向けた取組等を行うことで、市民や地域に親しまれる市バスを目指します。  |                          |
| 事業の内容<br>(どのような業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | 地域貢献に向けた取組を拡充するとともに、市バスのイメージアップに取り組みます。  |                          |
| 当該年度の取組内容<br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ①ハイブリッドバスの導入等による環境対策の推進(2両)<br>②災害時の迅速な対応に向けた取組の推進<br>③市バスキャラクター等によるイメージアップに向けた事業推進及び今後の事業展開の検討<br>④ギャラリーバス運行の継続実施 |                          |
| 当初計画からの変更箇所<br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  |  |                          |

## 実施結果 (Do)

|   |  |  |
|---|--|--|
| 上記「当該年度の取組内容」に対する達成度  | 3  | 1. 目標を大きく上回って達成<br>2. 目標を上回って達成<br>3. ほぼ目標どおり<br>4. 目標を下回った<br>5. 目標を大きく下回った |
| 取組内容の実績等<br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | ほぼ目標どおり達成できました。<br>①ハイブリッドバスを2両導入しました。<br>②お客様からの電話対応や、市バスナビなど情報配信機器の操作訓練を実施するとともに、台風への対応内容確認訓練を実施して、大型台風時の対応マニュアルを作成しました。また、民間バス事業者との連携強化・充実に図るため、民間バス事業者との書面による会議を実施し、台風及びコロナ禍の対応等について協議しました。<br>③新型コロナウイルス感染症の影響により、すべてのイベント開催を見送りましたが、70周年事業として絵画コンクールと市バスオリジナルグッズ福袋の販売を実施しました。次年度以降のイメージアップ事業については、経営状況及び感染症の影響等を考慮し、取組を検討します。<br>④新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校児童の作品がそろわない小学校がありました。別の小学校の絵画を展示するなどし、運行は維持しました。 |  |

| 指標分類 | 数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明) | 目標・実績  | H30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度 | 単位  |   |
|------|------------------------------|--|-------|------|------|------|-----|---|
| 1    | 活動指標                         | ハイブリッドバスの購入台数  | 目標    | 2    | 2    | 2    | —   | 両 |
|      | 説明                           | ハイブリッドバスの購入台数  | 実績    | 2    | 2    | 2    | —   |   |
| 2    | 活動指標                         | 危機管理に係る訓練実施回数  | 目標    | 2    | 2    | 2    | 2   | 回 |
|      | 説明                           | 局所管業務訓練、九都県市合同防災訓練・図上訓練等の実施回数                          | 実績    | 3    | 3    | 3    | —   |   |
| 3    | 活動指標                         | ギャラリーバスの運行日数   | 目標    | 365  | 366  | 365  | 365 | 日 |
|      | 説明                           | 川崎市内の小中学校児童の絵画作品及び区役所が主催する絵画コンクール事業との連携によるギャラリーバスの運行日数 | 実績    | 365  | 366  | 365  | —   |   |
| 4    |                              |  | 目標    |      |      |      |     |   |
|      | 説明                           |  | 実績    |      |      |      | —   |   |

## 評価 (Check)

|   |  |
|---|--|
| 事業を取り巻く社会環境の変化<br>(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など) | 公営バスとしての意義・役割に応じた事業運営を図り、社会的要請等に対応した事業を推進する必要があります。  |
| 事業の見直し・改善内容                               | <input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R 1 年度 <input type="checkbox"/> 未実施  |
| 具体的な見直し・改善内容<br>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載     | R1年度:夏休み、冬休み期間に小中学生向けの営業所見学ツアーを企画・実施しました。<br>H30年度:「かわさきノルフィン」登場10周年記念事業として、かわさきノルフィン×ハローキティ 衣装デザインコンテストを実施し、優秀作品をデザインしたラッピングバスを製作、運行しました。<br>H29年度:「かわさきノルフィン」のLINEスタンプ販売、Facebook・Twitterのアカウントを開設。<br>H28年度:市バスイメージアップの取組として、「かわさきノルフィン」と「ハローキティ」コラボレーション事業を実施。 |

| 評価項目    |  | 評価   |   |
|---------|--|--|---|
| 必要性     | 【市民のニーズ】<br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか?  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている  | a   |
|         | 【市が実施する必要性】<br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?  | a. 事例はない<br>b. 事例がある   | a   |
|         | 評価の理由  | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供するため、地域社会の一員として、市バスをより身近に感じていただき、市民や地域に親しまれる取組が必要です。 |   |
| 有効性     | 【成果】<br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない                                    | c   |
|         | 評価の理由  | イメージアップ事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等をすべて中止したため、成果を検証することができません。         |   |
| 効率性     | 【民間の活用】<br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b   |
|         | 【事業手法等の見直し】<br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか?           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある   | b   |
|         | 【質の向上】<br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | b   |
|         | 評価の理由  | 小学校との連携によるギャラリーバスの運行などにおいても多様な主体と連携して事業を推進することが必要です。                       |   |
| 施策への貢献度 | 貢献度区分  | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由  |   |
|         | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い   | A  | 環境に配慮したバス車両の購入や台風等緊急時の運行情報のSNS発信等の災害時の取組を推進するなど、地域貢献の取組を推進できたことから、施策への貢献はありました。 |

## 改善 (Action)

|                            |  |                               |
|----------------------------|--|-------------------------------|
| 今後の事業の方向性                  | 方向性区分  | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |
|                            | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | II                            |
| 今後の事業の方向性を踏まえた次年度の計画上の変更箇所 | 変更前<br>(次年度計画上の記載)   |                               |
|                            | 変更後<br>(上記計画上の記載に対する変更点)   |                               |
|                            | 変更の理由  |                               |

# 令和2年度 事務事業評価シート

| 事業の概要                        |   |                      |             |        |                     |        |        |                               |                 |       |       |       |  |
|------------------------------|---|----------------------|-------------|--------|---------------------|--------|--------|-------------------------------|-----------------|-------|-------|-------|--|
| <b>事務事業</b>                  | 事務事業コード<br>40704090   | 事務事業名<br>市バス経営計画推進事業 |             |        |                     |        |        |                               | 政策体系別計画の記載<br>有 |       |       |       |  |
| <b>担当</b>                    | 組織コード<br>822300   | 所属名<br>交通局企画管理部経営企画課 |             |        |                     |        |        |                               |                 |       |       |       |  |
| <b>実施期間</b>                  | 事業開始年度<br>—   | 事業終了年度<br>—          | 事務・サービス等の分類 |        | 分類1(市民サービス等)<br>その他 |        |        | 分類2(内部事務)<br>政策推進計画等(策定・進行管理) |                 |       |       |       |  |
|                              | <input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託・指定管理 <input type="checkbox"/> ボランティア等との協働 <input type="checkbox"/> その他 |                      |             |        |                     |        |        |                               |                 |       |       |       |  |
| <b>実施形態</b>                  | <input type="checkbox"/> 国・県の制度 <input type="checkbox"/> 国・県の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度   |                      |             |        |                     |        |        |                               |                 |       |       |       |  |
| <b>実施根拠</b>                  | (法令・要綱等)  |                      |             |        |                     |        |        |                               |                 |       |       |       |  |
| <b>総合計画と連携する計画等</b>          | 市バス事業経営戦略プログラム  |                      |             |        |                     |        |        |                               |                 |       |       |       |  |
| <b>行財政改革第2期プログラムに関連する課題名</b> | 改革項目  |                      |             |        |                     | 課題名    |        |                               |                 |       |       |       |  |
|                              | <b>年度</b>   | H30年度                |             | R1年度   |                     |        | R2年度   |                               |                 | R3年度  |       |       |  |
| <b>予決算</b><br>(単位: 千円)       |   | 予算額                  | 決算額         | 計画事業費  | 予算額                 | 決算額    | 計画事業費  | 予算額                           | 決算額(見込)         | 計画事業費 | 予算額   | 決算額   |  |
|                              | <b>事業費 A</b>  | 19,436               | 20,000      | 3,103  | 17,092              | 10,354 | 3,103  | 13,376                        | 1,180           | 3,168 | 3,652 |       |  |
|                              | <b>財源内訳</b>   | 国庫支出金                | 0           | —      | 0                   | 0      | —      | 0                             | 0               | —     | 0     | 0     |  |
|                              |   | 市債                   | 13,000      | —      | 0                   | 0      | —      | 0                             | 0               | —     | 0     | 0     |  |
|                              |   | その他特財                | 6,436       | —      | 3,103               | 17,092 | —      | 3,103                         | 13,376          | —     | 3,168 | 3,652 |  |
|                              |   | 一般財源                 | 0           | —      | 0                   | 0      | —      | 0                             | 0               | —     | 0     | 0     |  |
|                              | <b>人件費* B</b>   | 16,093               | 16,093      | 14,443 | 14,443              | 14,443 | 15,300 | 15,300                        | 15,300          | 0     | 0     | 0     |  |
| <b>総コスト(A+B)</b>             | 35,529  | 36,093               | 17,546      | 31,535 | 24,797              | 18,403 | 28,676 | 16,480                        | 3,168           | 3,652 | 0     |       |  |
| <b>人工(単位: 人)</b>             | 1.9   |                      | 1.7         |        |                     | 1.8    |        |                               |                 |       |       |       |  |

※ 人件費は、予算・決算における職員1人当たり人件費に、人工を乗じて算出

| 計画 (Plan)  |   |           |               |           |               |             |                          |
|--|---|-----------|---------------|-----------|---------------|-------------|--------------------------|
| <b>政策体系</b>                                      | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"><b>政策</b></td> <td>総合的な交通体系を構築する</td> </tr> <tr> <td><b>施策</b></td> <td>市バスの輸送サービスの充実</td> </tr> <tr> <td><b>直接目標</b></td> <td>安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する</td> </tr> </table> | <b>政策</b> | 総合的な交通体系を構築する | <b>施策</b> | 市バスの輸送サービスの充実 | <b>直接目標</b> | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する |
| <b>政策</b>  | 総合的な交通体系を構築する   |           |               |           |               |             |                          |
| <b>施策</b>  | 市バスの輸送サービスの充実   |           |               |           |               |             |                          |
| <b>直接目標</b>                                      | 安全で快適な市バス輸送サービスを持続的に提供する  |           |               |           |               |             |                          |
| <b>事業の対象</b><br>(事業の対象となる人、物)                    | バスを利用する市民等  |           |               |           |               |             |                          |
| <b>事業の目的</b><br>(対象をどのような状態にしたいか)                | 「市バス事業 経営戦略プログラム」に掲げる取組を着実に推進することで、安全で快適な市バス輸送サービスの提供や市民サービスの向上を図ります。   |           |               |           |               |             |                          |
| <b>事業の内容</b><br>(どういった業務内容で、どのような手段で実施しているか)     | 担当職員が定期的に「市バス事業 経営戦略プログラム」に掲げる各取組の進捗状況を確認し、必要に応じて促進策を講じます。また、全体的な視点での取組推進を図るため、局内における進捗管理会議を実施するとともに、取組に対する外部有識者等の意見を聴取し、効果的に事業を推進します。  |           |               |           |               |             |                          |
| <b>当該年度の取組内容</b><br>(第2期実施計画に記載されている具体的な当該年度の取組) | ①川崎市バス事業経営戦略プログラムに基づく取組推進及び進捗管理の実施<br>②市バス事業アドバイザー・ボードにおける経営戦略プログラムの取組に対する外部有識者等の意見聴取   |           |               |           |               |             |                          |
| <b>当初計画からの変更箇所</b><br>(上記計画に記載されている内容から変更となる取組)  |   |           |               |           |               |             |                          |

| 実施結果 (Do)  |  |  |                                      |  |              |              |             |             |             |           |   |
|--|--|--|--------------------------------------|--|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-----------|---|
| <b>上記「当該年度の取組内容」に対する達成度</b>  | <b>3</b>   | 1. 目標を大きく上回って達成    4. 目標を下回った<br>2. 目標を上回って達成    5. 目標を大きく下回った<br>3. ほぼ目標どおり |                                      |  |              |              |             |             |             |           |   |
| <b>取組内容の実績等</b><br>(上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若しくは「より達成できた部分」を記載) | 目標どおり達成できました。<br>①局内進捗管理会議を2回開催し、経営戦略プログラムの取組の進捗状況を把握し、計画の進捗管理をすることで計画の推進に寄与しました。<br>②市バス事業アドバイザー・ボードにおいて、経営戦略プログラムの取組に対して外部有識者等の御意見を聴取しました。 |  |                                      |  |              |              |             |             |             |           |   |
| <b>指標分類</b>  | <b>数値で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)</b>  |  |                                      |  | <b>目標・実績</b> | <b>H30年度</b> | <b>R1年度</b> | <b>R2年度</b> | <b>R3年度</b> | <b>単位</b> |   |
| 1  | 活動指標   | <b>局内進捗管理会議の開催回数</b>   |                                      |  |              | 目標           | 2           | 2           | 2           | 2         | 回 |
|  |  | 説明   | 半期に一度、経営プログラムに基づく事業進捗状況の確認を行う会議の開催回数 |  |              | 実績           | 2           | 2           | 2           | —         |   |
| 2  | 活動指標   | <b>「市バス事業アドバイザー・ボード」開催回数</b>   |                                      |  |              | 目標           | 3           | 1           | 1           | 3         | 回 |
|  |  | 説明   | 有識者、市民、事業者を委員とする会議の開催回数              |  |              | 実績           | 4           | 1           | 1           | —         |   |
| 3  |  |  |                                      |  |              | 目標           |             |             |             |           | — |
|  |  | 説明   |                                      |  |              | 実績           |             |             |             |           |   |
| 4  |  |  |                                      |  |              | 目標           |             |             |             |           | — |
|  |  | 説明   |                                      |  |              | 実績           |             |             |             |           |   |

## 評価 (Check)

**事業を取り巻く社会環境の変化**  
(国・県・他団体の動向や法改正、規制緩和など)

市バス事業を取り巻く社会経済環境の変化を踏まえ、持続可能な経営を行い、事業を推進していく必要があります。

**事業の見直し・改善内容**

実施 (直近) H 30 年度  未実施

具体的な見直し・改善内容  
※過去に見直した履歴も記載  
できる場合は記載

H30年度:「市バス事業経営戦略プログラム」を策定しました。  
H29年度:効果的に市バス事業を推進していくため、専門的見地からのアドバイスや利用者からの意見をいただく場として設置していたアドバイザー・ボードについて、次期経営計画策定の取組における外部有識者等からの意見聴取機関として活用することとしました。

| 評価項目        |  | 評価   |   |
|-------------|--|--|---|
| 必要性         | 【市民のニーズ】<br>事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか?  | a. 薄れていない<br>b. 薄れている  | a   |
|             | 【市が実施する必要性】<br>他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?  | a. 事例はない<br>b. 事例がある   | a   |
|             | 評価の理由  | 市バス事業の意義・役割を踏まえながら、持続可能な経営を行うためには、継続的に行政が運営を担っていく必要があります。  |   |
| 有効性         | 【成果】<br>活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか?   | a. 上がっている<br>b. 徐々に上がっている<br>c. 上がっていない  | a   |
|             | 評価の理由  | 局内進捗管理会議や、「市バス事業アドバイザー・ボード」の外部有識者等から専門的見地からのアドバイスや意見をいただくことで、「市バス事業経営戦略プログラム」に基づく取組を着実に推進することができました。 |   |
| 効率性         | 【民間の活用】<br>委託や指定管理者制度など、実施手法について民間活用によりコストを削減できる余地があるか?                                | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | a   |
|             | 【事業手法等の見直し】<br>事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか?           | a. 可能性はない<br>b. 可能性はある   | a   |
|             | 【質の向上】<br>事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内部(職員・組織)の質の向上を図ることができる余地があるか? | a. 余地はない<br>b. 余地はある<br>c. 既に実施済み  | a   |
|             | 評価の理由  | 局内進捗管理会議では、進捗の遅れている取組や新規取組が俯瞰できるような資料作成を行いました。   |   |
| 施策への<br>貢献度 | 貢献度区分  | 上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由  |   |
|             | A. 貢献している<br>B. やや貢献している<br>C. 貢献の度合いが薄い   | A  | 「市バス事業経営戦略プログラム」に基づく取組を着実に推進できたことから、施策への貢献はありました。 |

## 改善 (Action)

|                                    |  |                               |  |
|------------------------------------|--|-------------------------------|--|
| 今後の事業<br>の方向性                      | 方向性区分  | 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 |  |
|                                    | I. 現状のまま継続<br>II. 改善しながら継続<br>III. 事業規模拡大<br>IV. 事業規模縮小<br>V. 事業廃止<br>VI. 事業終了 | II                            | 局内進捗管理会議及び外部有識者などを委員とする「市バス事業アドバイザー・ボード」から、より有用な意見が提案されるように、事前に資料を提供するなど効果的な会議運営をすることで、「市バス事業経営戦略プログラム」に基づく取組を着実に推進していきます。 |
| 今後の事業の方向性を<br>踏まえた次年度の計画上の<br>変更箇所 | 変更前<br>(次年度計画上<br>の記載)   |                               |  |
|                                    | 変更後<br>(上記計画上の記載に<br>対する変更点)   |                               |  |
|                                    | 変更の理由  |                               |  |